

# 統計茨城

1963.9.10

## 目次

工業統計調査結果	3~23
秋の秋	
アの役割	美濃部亮吉 1~2
産業基本調査結果(38年2月)	24~28
調査統計調査結果速報(6月分)	29~32
調査料案内	33
常住人口(5月1日)	34~35
産業総合指数(4月)	36~37
アにみる(工場誘致)	38~39
産業めぐり(石材)	40~41
調査を終えて	42
雑話(15)	塚本勝義 43



## みのりの秋

はじめじめした梅雨期にくらべると秋は気持ちよい季節だ、ことに農家では稲をはじめいろいろな農作物の収穫期で、農良仕事にも一段と張合いが出るというもの、心配された冷害もなく、たいした台風にも見舞われずにすみ、今年も平年作を上廻り豊作ということ、生産者にかぎらず消費者としても大いに喜ぶべきことである。

本県は全国でも有数の穀倉地帯で、稲の作付面積は北海道、新潟県について3番目、収穫量は約45万tで全国第9番目だが、作付面積が多い割合に収穫が少ないのは、陸稲の作付が全国平均で5%であるのに、本県では25%と反収の低い陸稲の作付が多いためだ。

県南、県西などの早場米地帯では稲刈も真盛り、早く政府に売り渡せば早出し奨励金もつくということで1日も早く俵にしたいわけだが、最近農村での人手不足はしんこくなもので、稲刈の人手をさがすのも非常に苦労するとのことである。それに物価値上げムードに影響されてか、手間代もうなぎのぼりて、農林省茨城統計調査事務所の調べたところによると、最高が土浦地方の1日2食付で1,000円、平均でも2食付800円というところそれでもなかなか働き手が集まらずみのりの秋を迎え喜びとともに悩みも多いわけだ。日雇で来てくれる人が少なくなつた原因はいろいろ考えられようが、最も大きな原因は、やはり工場誘致等が進むにつれ、今までの日雇としての要員であつた。小規模経営の人達が、就業の機会に恵まれ、日雇よりは安定している近くの工場へ働きに行くようになったためだろう。

このようなことから、すでに検討されている省力農業ということも、今後の農業経営の重要な問題となるであろう。

# グ ラ フ の 役 割

東京教育大学教授 美濃部亮吉

グラフというのは、いうまでもなく、統計の数字を図表化したものである。図表化するには、線で書くとか、棒を立てるとか、円を描くとか色々の方法があるが、要するに、数字では、目で見てすぐにはイメージの浮ばないものを、グラフにして直接に視覚に訴えようということを目的としたものである。

しかし、数字では、どうしても現わし得ないものが、グラフによつて示すことができるというものではない。いいかえれば、統計数字で示し得る限度が、グラフによつて拡大されるというものではない。だから、グラフは数字以上の働きをするものだとはいえないように思われる。

統計数字によく慣れて人は、数字を見て、それが示している現象をただちに頭のなかに思い浮べることができるにちがいない。だから、統計を使いなれた人にはグラフの必要はないといつてよいだろう。

又、複雑な統計を、グラフで示すと、生の統計で示した場合以上に理解しにくくなる。グラフにして、効果があるのは、非常に簡単な統計に限られるといつてよい。

だから、グラフというのは、統計になれない人達に、ごくかんたんな統計を、視覚に訴えるという方法で示すことを目的としているといえるだろう。前にも述べたように、統計では示し得ないものを、グラフが示し得るといふことはあり得ない。だから、誰もが統計になれて、なまの数字の理解し得る能力を備えているようになればグラフは不要になるといつてもいいすぎではあるまい。

○ ○ ○  
この点についていつも考えるのは、中学校及び高等学校の社会科の教科書を書く場合に、グラフを多く使う方がよいか、或いは、なまの統計数字をそう入した方がよいかということである。

従来の教科書の多くは、統計はできるだけグラフ化して示すという方針のようである。しかし、私は、中学校乃至高校においては、生徒に、できるだけなまの統計になれさせる習慣をつけることが必要なのではないかと思つている。だから、グラフ化した統計は、最小限にしてできるだけなまの統計を使うようにすべきだと考えている。

ことに、数字の入つていないグラフは、無意味に近いものではないだろうか。統計というものは、元来、数字によつて、現象の正確な姿を示すことを目的とするものである。従つて、数字の入つていないグラフからは、現象の正確な姿はつかめない。大ざつばな、大体の姿しかつかむことができない。それはもはや統計であるとは、いえないのではないだろうか。

中学校・高校の社会科では、統計によつて現象の真実にして正確な姿を教えなければならないはずである。それなのに、数字の入つていないグラフを多く使つていることは、現象の大ざつばな姿しか教えないということになると思われる。

○ ○ ○  
だから、グラフというものは、結局、PRのための道

具であるということになると思われる。近頃はデータのはんらん時代である。そして、データでありさえすれば正しいと考えられがちである。そのくせ、数字そのものは敬遠される。

こういう時代に、グラフは、有効なPRの道具であるといえる。とにかく、それは、データを表現している。そして、視覚を通じて大衆に訴える力をもっている。大衆は、かんたんに、グラフが示していることが、真実であると思つてしまう。だからこそ、グラフは、PRの有効な武器として使われるのである。

○ ○ ○  
 勿論、グラフは、統計を正しく図表化したものでなければいけない。それは当然のことである。しかし、グラフは、元来がPRの武器である。従つて、グラフによつて示そうとしていることが、かんたんに、しかも、強力に相手に訴えられれば、それが最上のグラフだといえるのではないだろうか。

そうであるならば、数字が正しく表現されていさえすれば、そのほかには、グラフの書き方についてやかましい法則は一つもないといつてよいと思われる。

◇

## 統計課人事異動

(7月15日 発令)

(新)

(旧)

### 転入者

労働統計係	主事	小室高成	県西振興事務所
〃	主事	中川昭典	医薬務課
人口統計係	主事補	渡辺洋子	庶務係

### 転出者

県立長生院	主事	会沢精	労働統計係
水戸県税事務所	〃	高岡旗男	〃
退職	主事補	関操	人口統計係

昭和 37 年

# 工業統計調査結果

## 1 調査の概要

この工業統計調査は毎年12月31日現在で実施され、調査の目的は、わが国における製造業の実態を構造的に把握するとともに、生産活動に関する基本的資料を提供しようとするものであり、その結果は単に通商産業行政資料とするだけでなく、国および地方公共団体の諸施策を推進するための資料として、また民間企業における参考資料として広く利用されております。

## 2 事業所

製造業の事業所数は、7,214（従業者3人以下の事業所3,787、4人以上の事業所3,427）で前年の7,104にくらべ110（1.5%）の増加となつた。また5年前の33年と

比較すると約15%の増加を示している。

これは総合開発計画にもとづく工場誘致とこれにともなう下請工場の新設等が主なる要因であると考えられる。

従業者30人以上の事業所は前年より31（5.1%）の増加で、従業者4人～29人までの事業所は121（4.5%）と増加しているが、これに対して3人以下の零細な事業所は42（1.1%）とその率は極めて低いが減少を示しており従業者規模の拡大の傾向があらわれてきた。（第1表）

### (1) 産業別構成

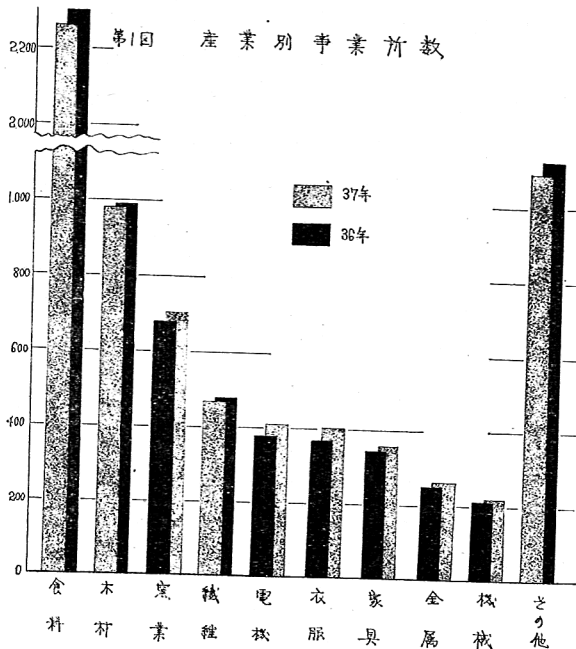
産業別に事業所数の構成をみると、食料品製造業が全体の31.3%（前年32.4%）を占め最も多く、次いで木材及び木製品製造業の13.7%（前年14.0%）窯業及び土石製品製造業9.7%（前年9.5%）繊維工業6.5%（前年6.7%）と高いウエイトを占めている。

前年にくらべ著しく増加を示した産業として鉄鋼（40.0%増）皮革及び皮革製品製造業（21.9%増）輸送用機械器具製造業（10.4%増）衣服及び繊維製品製造業（9.4%増）電気機械器具製造業（7.9%増）等重工業の伸びと繊維関係産業の盛り返しがみられる。反面ゴム製品製造業（37.5%減）石油及び石炭製品製造業（12.5%減）化学工業（5.3%減）等をはじめ主に軽工業関係は減少傾向にある。

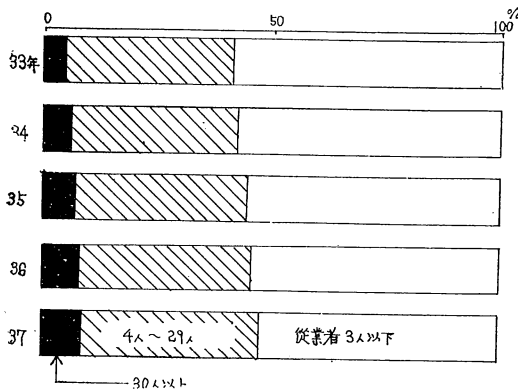
（第2表）

### (2) 規模別構成

従業者規模別に事業所数の構成をみると、従業者29人以下の事業が全体に占める割合は35年92.7%（全国91.0%）36年91.4%、37年91.1%と序々にではあるが低下している。従業者30人～299人までの事業所数は前年は8.2%であつたが本年は8.5%とな



第2回 規模別事業所数の推移



り、従業員300人以上の事業所では0.5%から0.4%へと変つている。前年にくらべ大きな伸びを示したのは、従業員100人~199人までの事業所25.6%、20人~29人までの事業所、300人~499人、18.2%と中小事業所が増加しており、これに対し従業員3人以下という家内工業的な零細事業と、従業員500人以上という規模の大きい事業が減少を示した。

(第3表)

### (3) 地域別構成

地域別に事業所数をみると、県北2,936 (0.5%増) で全体の40.9%を占め、このうち半分は日立市、水戸市である。この地域では日立市のように概成工業地帯では伸びが鈍化しているが、これと隣接している北茨城市、高萩市等で増加傾向にある。勝田市は電気機械器具製造業を中心として35年頃から増加が目立っている。県西では2,288 (4.1%増) で31.7%を占め、とくに猿島郡が前年の273に比べ12.5%増加を示したことは注目されるが、これは岩井町、総和村における工場誘致の成果が大きかったためである。真壁郡、結城郡においても前年にくらべ、5.1%の増加を示している。

県南では1,382 (0.5%増) 19.2%を占め、新治郡の7.6%増が目立っている。今後臨海工業地帯として大規模な開発を計画されている鹿行では、全体の僅か8.2%を占めるのみで、事業所数も減少傾向にある。

(第4表)

## 3 従業者

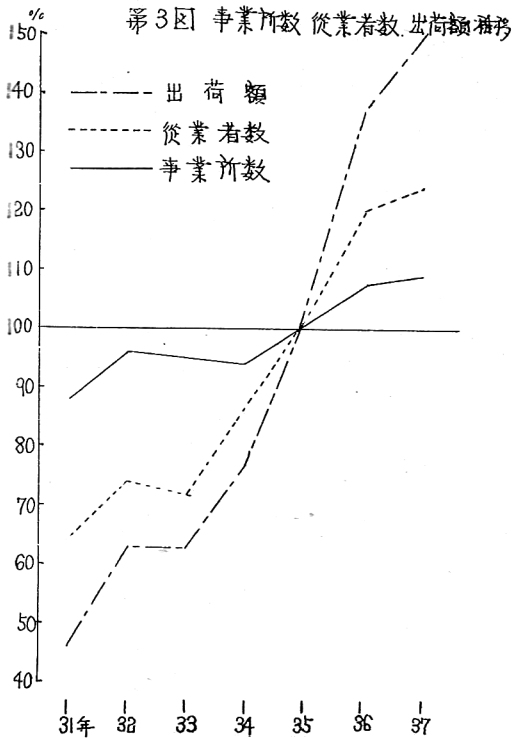
製造業に従事する従業者数は、135,058人で前年より、2,757 (2.1%増) 事業所数の増加率1.5%を上廻っている。従業者の伸びが少なかったため、1事業所当り従業者数も前年の18.6人に対し、18.7人とほとんど変りがない。技術革新が進んだことによつて、技術職員の役割も大きくなり、それを裏づけするように従業者の構成をみると、労務者は前年の73.9%に対し、本年は71.7%と減少し、これに反し職員は前年18.6%であつたものが本年は21.0%とその割合が増加した。従業者29人以下の事業所が減少しているの、当然のことかも知れないが個人業主及び家族従業者の占める割合は、34年に10%台を割り年々減少し、本年は7.3%となつた。

### (1) 産業別構成

産業別に従業者の構成をみると、電気機械器具製造業が全体の32.1%を占め、事業所数では最も多かつた食品製造業がこれに次ぎ、12.8%、以下機械製造業7.8%、窯業及び土石製品製造業7.3%、木材及び木製品製造業6.2%となつている。産業別に前年対比をみると、鉄鋳業で前年の761人に対し3,501人 (360.1%増) と著しい伸びを示し、精密機械器具製造業35.7%、皮革及び皮革製品製造業33.2%、衣服及び繊維製品製造業32.1%、機械製造業28.4%とそれぞれ顕著な伸びを示している。

反面、輸送用機械器具製造業36.5%、ゴム製品製造業30.1%、石油及び石炭製品製造業20.4%、電気機械器具製造業10.0% (前年にくらべ4,809人減) 等が減少を示している。産業別に1事業所当り従業者をみると、非鉄金属製造業が最も多く239.3人 (前年277.6人) で電気機械器具製造業105.1人、鉄鋼業83.4人がこれに次いでいる。これに対し、家具製造業5.3人、木材及び木製品製造業8.4人、食料品製造業7.6人等のように少なく手工業的な産業であることを物語っている。

産業別に従業者の構成をみると、職員の占めるウェイトの高い産業として、石油及び石炭製品製造業31.6% (前年29.3%) 非鉄金属製品製造業30.9% (前年27.5%) 電気機械器具製造業30.6% (前年25.1%) 化学工業30.5



% (前年25.9%)といずれも前年にくらべその割合が増加し、技術革進が進んでいることを現わしている。また労務者の占める割合が高い産業として、ゴム製品製造業59.2% (前年89.4%) 輸送用機械器具製造業84.4% (前年78.0%) 精密機械器具製造業83.5% (前年83.5%) 皮革及び皮革製品製造業82.2% (前年78.8%) 等である。個人業主及び家族従業者の占める割合は、平均で、7.4人、家具及び装備品製造業23.4% (前年26.3%) 食料品製造業23.4% (前年24.5%) 繊維工業16.6% (前年17.7%) 等いずれも減少傾向にある。

#### (2) 規模別構成

従業者の規模別構成をみると、従業者1,000人以上の事業所で30.6%を占めているが、前年にくらべ7.8%の減少を示した。前年にくらべ著しく増加したクラスは従業者20人~29人、24.6%、従業者100人~199人、24.2% 従業者300人~499人、21.3%等であるが、従業者200人~299人では246%の減少を示し注目されるが、事業所数が前年にくらべ5減少しているのが当然のことかも知れない。

#### (3) 地域別構成

地域別に従業者のうごきを見ると、日立市を中心とする県北において2.7%の減少を示したが、これは日製、日鉱及びこれらの下請企業を多く擁している日立市で前年にくらべ9.8%、5,100人の減少が大きく影響している。

県南では16.4%増とくに北相馬郡の47.0%増、新治郡の31.9%増が目立っている。県西では12.6%増、事業所数でも著しい増加を示した猿島郡では52.5%と大巾な増加をみせている。事業所数では減少をみせた鹿行も従業者では7.0%の増加を示している。1事業所当り従業者数は県平均で18.7人、勝田市128.0人、日立市70.3人が他の地域にくらべ多く、大事業所が集中していることを意味している。

### 4 出荷額

この調査で出荷額とは、事業所の製造品、副産物、中間製品類等の出荷されたもの、および加工賃、修理料、その他(くず、廃物類の売却代等)の収入総額をいう。

本年の総出荷額は2,858億円で、前年より9.2%(242億円)の増加で堅実な伸びを示した。また1事業所当りの出荷額は3,962万円で前年より7.6%、従業者1人当りでは212万円で7.1%の伸びとなつている。

#### (1) 産業別構成

出荷額の産業別構成をみると、電気機械器具製造業が全体の約40%を占め1,125億円で、これに次ぐのは、非鉄金属製造業16.0%、458億円、食料品製造業11.7%、334億円、機械器具製造業6.8%、193億円等である。

産業別に年前と比較してみると、鉄鋼業において、35年56億円、36年7億円、37年には76億円と前年にくらべ10倍以上の伸びを示していることが不自然に思われるがこれは、輸送用機械器具製造業でこれとは逆な現象がみられることから、その原因を調査してみたら、大きな企業の産業分類が変つたことによることがわかつた。

精密機械器具製造業は137.2%(27億円)増、パルプ

紙及び紙加工品製造業68.4% (21億円) 増, その他の製造業71.5% (27億円) 増等と各産業が順調な伸びを示し, 本県経済の堅実な成長を物語っているが, 全体としての伸び率は35年から36年への伸びにくらべ弱まった。

見方を変えて一事業所当りの出荷額をみると, パルプ紙及び紙加工品製造業, 石油及び石炭製品製造業等は前年は共に低下の傾向を示していたが, 本年に入り上昇傾向をみせ工場の設備近代化による生産力上昇として注目される。旺盛な消費とレジャーブームによる需要増加のため, 繊維工業, 衣服及び繊維製品製造業, 家具及び装備品製造業等で著しい伸びがみられる。

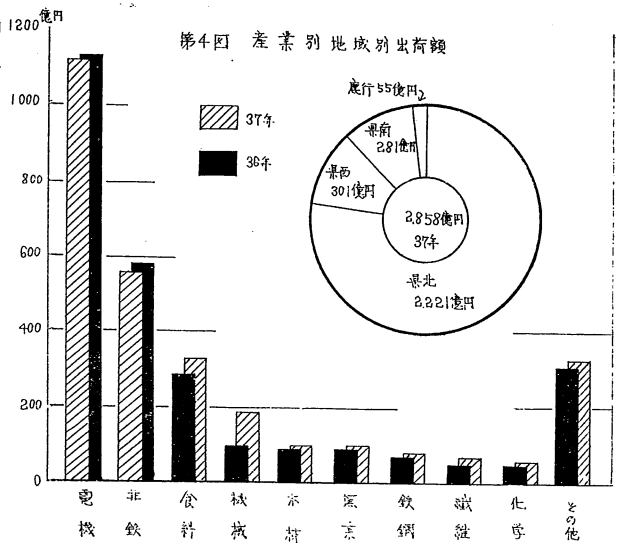
### (2) 規模別構成

事業所の従業者規模別に出荷額をみると, 従業者1,000人以上の事業所で全体の54.4%を占め, 50人以上1,000人未満の規模では約5~6%を占めている。出荷額の推移をみると, 従業者20人以上200人未満の中・小規模事業所では安定した伸びをみせ, 1,000人以上の事業所では前年にくらべ3.2% (61億円) の減少を示し, 500人~999人ではほとんど伸びがみられず, 大企業で, このように出荷額の伸びが停滞したのは, 景気調整による設備投資の抑制と操業短縮等によるものであると考えられる。

従業者の規模別に1事業所当りの出荷額をみると, 規模が拡大するにともない, 級数的に増加しており, 前年との対比では, 300人~499人で130.2%の大巾な伸びを示したことが注目される。100人~199人, 200人~299人でも順調な伸びを示した。

### (3) 地域別構成

事業所数では40.9%しか占めていない県北が出荷額では8割を占め県北工業地帯ということをも端的に物語っており, とくに日立市では1,557億円の巨額にのぼり, 本県工業生産額の5割以上を占めている。その他の地域では出荷637億円でその額としては僅かであるが, これら



の地域の動向をみると極めて注目に値するところがある。

つまり県西では, 前年にくらべ63.3%の増加を示し, 300億円となり, とくに猿島郡での出荷額の増加は著しかった。県南では43.1%, 鹿行では13.5%とそれぞれ前年にくらべ増加している。



第 1 表

規 模 別 事 業 所 数 推 移

年 次 別	総 数		従業者30人以上		従業者4人~29人		従業者3人以下	
	実 数	指 数 35年=100	事業所数	構 成 比	事業所数	構 成 比	事業所数	構 成 比
昭 和 31 年	5,804	87.8	283	4.9	2,092	36.0	3,429	59.1
〃 32 年	6,345	95.9	334	5.3	2,284	36.0	3,727	58.7
〃 33 年	6,285	95.0	325	5.2	2,287	36.4	3,673	58.4
〃 34 年	6,222	94.1	397	6.4	2,275	36.6	3,550	57.0
〃 35 年	6,613	100.0	484	7.3	2,500	37.8	3,629	54.9
〃 36 年	7,104	107.4	611	8.6	2,664	37.5	3,829	53.9
〃 37 年	7,214	109.1	642	8.9	2,785	38.6	3,787	52.5

第 2 表

産 業 別 事 業 所 数

産 業 別	昭和31年	昭和32年	昭和33年	昭和34年	昭和35年	昭和36年	昭 和 37 年		
							事業所数	前年対比	構 成 比
總 数	5,804	6,345	6,285	6,222	6,613	7,104	7,214	101.5	100.0
食 料	2,217	2,328	2,322	2,289	2,274	2,303	2,261	98.2	31.3
織 維	421	415	385	336	371	476	468	98.3	6.5
衣 服	181	247	254	279	334	372	407	109.4	5.6
木 材	955	1,016	972	951	966	992	989	99.7	13.7
家 具	233	307	306	302	335	346	363	104.9	5.0
パ ー ル	70	82	84	86	88	106	105	99.1	1.6
出 版	133	148	151	146	148	165	167	101.2	2.3
化 学	130	127	114	112	115	115	110	95.7	1.5
石 油	7	7	7	5	6	8	7	87.5	0.1
ゴ ム	7	11	15	13	16	16	10	62.5	0.1
皮 革	15	18	22	24	26	32	39	121.9	0.5
窯 業	529	556	565	587	638	675	702	104.0	9.7
鉄 鋼	21	23	22	27	26	30	42	140.0	0.6
非 鉄 金 属	13	16	15	16	15	31	33	106.5	0.5
機 械	160	206	199	188	226	248	266	107.3	3.7
機 械	143	158	169	167	194	214	221	103.3	3.1
電 機	135	163	172	186	268	382	412	107.9	5.7
輸 送 機 械	97	104	111	113	142	144	159	110.4	2.2
精 糖	45	56	52	57	67	76	81	106.6	1.1
そ の 他	292	357	348	334	358	373	372	99.7	5.2

第 3 表

規 模 別 事 業 所 数

規 模 別	昭和31年	昭和32年	昭和33年	昭和34年	昭和35年	昭和36年	昭 和 37 年		
							事業所数	対前年比	構 成 比
總 数	5,804	6,345	6,285	6,222	6,613	7,104	7,214	101.5	100.0
3 人 以 下	3,429	3,727	3,673	3,550	3,629	3,829	3,787	98.9	52.5
4 人 ~ 9 人	1,266	1,369	1,370	1,267	1,367	1,368	1,375	100.5	19.1
10 人 ~ 19 人	631	705	696	749	855	950	985	103.7	13.6
20 人 ~ 29 人	195	210	222	256	278	346	425	122.8	5.9
30 人 ~ 49 人	141	159	152	191	226	289	276	95.5	3.8
50 人 ~ 99 人									
	89	113	122	136	170	204	236	115.7	3.3
100 人 ~ 199 人	27	34	24	38	51	66	83	125.6	1.2
200 人 ~ 299 人	8	10	12	10	14	20	15	75.0	0.2
300 人 ~ 499 人	8	8	6	9	12	11	13	118.2	0.2
500 人 ~ 999 人	3	2	2	3	4	10	9	90.0	0.1
1,000 人 以 上	7	8	6	10	7	11	10	90.9	0.1

第 4 表

地 域 別 事

	昭 和 31 年	昭 和 32 年	昭 和 33 年	昭 和 34 年
総 数	5,804	6,345	6,285	6,222
市 部	3,087	3,593	3,684	3,651
郡 部	2,717	2,752	2,601	2,571
県 北	2,256	2,555	2,519	2,532
水 戸 市	431	624	640	634
日 立 市	402	471	463	496
那 珂 湊 市	150	148	146	138
常 陸 太 田 市	147	168	160	158
勝 田 市	66	69	72	70
高 萩 市	75	81	80	90
北 茨 城 市	111	111	105	111
笠 間 市	—	—	91	89
東 茨 城 郡	368	358	336	312
西 茨 城 郡	214	231	143	150
那 珂 郡	153	152	145	142
久 慈 郡	126	128	124	128
多 賀 郡	13	14	14	14
鹿 行	635	626	641	631
鹿 島 郡	438	440	463	463
行 方 郡	197	186	178	168
県 南	1,206	1,283	1,255	1,229
土 浦 市	300	331	328	326
石 岡 市	207	211	212	209
竜 ヶ 崎 市	104	116	113	114
稻 敷 郡	137	152	143	133
新 治 郡	163	167	163	161
筑 波 郡	167	178	175	159
北 相 馬 郡	128	128	121	127
県 西	1,707	1,881	1,870	1,830
古 河 市	305	382	384	385
下 館 市	264	299	286	279
結 城 市	337	389	374	326
下 妻 市	88	89	95	93
水 海 道 市	100	104	135	133
真 壁 郡	196	194	190	208
結 城 郡	185	191	174	173
猿 島 郡	232	233	232	233

## 業 所 数

昭和 35 年	昭和 36 年	昭 和 3 7 年		
		事 業 所 数	前 年 对 比	構 成 比
6,613	7,104	7,214	101.5	100.0
3,932	4,144	4,179	100.8	57.9
2,681	2,960	3,035	102.5	42.1
2,690	2,936	2,951	100.5	40.9
681	664	666	100.3	9.2
584	746	740	99.2	10.3
143	146	145	99.3	2.0
161	162	160	98.8	2.2
75	91	96	105.5	1.3
92	91	97	106.6	1.4
111	108	121	112.0	1.7
87	88	86	97.7	1.2
300	326	324	99.4	4.5
169	181	184	101.7	2.6
148	159	163	102.5	2.3
125	156	155	99.4	2.1
14	18	14	77.8	0.2
609	596	593	99.5	8.2
417	396	378	95.5	5.2
192	200	215	107.5	3.0
1,305	1,375	1,382	100.5	19.2
334	375	369	98.4	5.1
240	239	241	100.8	3.3
132	114	112	98.2	1.6
134	149	149	100.0	2.1
168	185	199	107.6	2.8
169	178	175	98.3	2.4
128	135	137	101.5	1.9
2,009	2,197	2,288	104.1	31.7
452	456	465	102.0	6.4
287	281	289	102.8	4.0
324	357	359	100.6	5.0
92	91	93	102.2	1.3
137	135	140	103.7	1.9
252	351	369	105.1	5.1
198	253	266	105.1	3.7
267	273	307	112.5	4.2

第 5 表

## 従 業 者 数

年 次	総 数			内 員
	実 数	35年100指数	1事業所当り	
昭 和 3 1 年	69,713	63.7	12.0	13,281
" 3 2 年	80,951	74.0	12.8	14,742
" 3 3 年	78,874	72.1	12.5	15,230
" 3 4 年	95,335	87.1	15.3	17,981
" 3 5 年	109,470	100.0	16.6	20,244
" 3 6 年	132,301	120.1	18.6	24,566
" 3 7 年	135,058	124.3	17.8	28,297

第 6 表

## 産 業 別 従 業

産 業 別	従 業 者 数						業 職	
	昭 和 36 年		昭 和 37 年		一事業所当り	前年対比	昭 和 36 年	
	人 員	構 成 比	人 員	構 成 比			人 員	構 成 比
総 数	132,301	100.0	135,058	100.0	18.7	102.1	24,566	18.6
食 料	16,642	12.6	17,228	12.8	7.6	103.5	1,997	12.0
織 維	4,380	3.3	4,547	3.4	9.7	103.8	399	9.1
衣 服	3,492	2.6	4,614	3.4	11.3	132.1	238	6.8
木 材	7,733	5.9	8,357	6.2	8.4	108.1	904	11.7
家 具	1,558	1.2	1,942	1.4	5.3	124.6	127	8.2
パ ー ル	1,650	1.2	2,013	1.5	19.2	122.0	207	12.5
出 版	1,743	1.3	1,814	1.3	10.9	104.1	409	23.5
化 学	1,925	1.5	1,828	1.4	16.6	95.0	499	25.9
石 油	314	0.2	253	0.2	36.1	80.6	92	29.3
ゴ ム	430	0.3	305	0.2	30.5	70.9	23	5.3
皮 革	383	0.3	510	0.4	13.1	133.2	37	9.7
窯 業	9,166	6.9	9,809	7.3	14.0	107.0	1,086	11.8
鉄 鋼	761	0.6	3,501	2.6	83.4	460.1	86	11.3
非 鉄 金 属	8,605	6.5	7,898	5.8	239.3	91.8	2,367	27.5
機 械	3,716	2.8	4,335	3.2	16.3	116.7	396	10.7
電 機	8,227	6.2	10,566	7.8	47.8	128.4	1,363	16.6
輸 送 機 械	48,120	36.4	43,311	32.1	105.1	90.0	12,085	25.1
精 糖	5,768	4.4	3,664	2.7	23.0	63.5	1,097	19.0
そ の 他	2,733	2.1	3,710	2.7	45.8	135.7	382	14.0
	4,955	3.7	4,853	3.6	13.0	97.9	772	15.6

第 7 表

## 規 模 別 従 業

	従 業 者 数					
	昭 和 31 年	昭 和 32 年	昭 和 33 年	昭 和 34 年	昭 和 35 年	昭 和 36 年
総 数	69,713	80,951	78,874	95,335	109,470	132,301
3 人 以 下	8,030	8,601	8,539	8,328	8,344	8,824
4 人 ~ 9 人	7,909	8,397	8,490	8,023	8,651	8,699
10 人 ~ 19 人	8,325	9,377	9,282	10,003	11,463	13,020
20 人 ~ 29 人	4,552	5,006	5,328	6,101	6,608	8,226
30 人 ~ 49 人	5,383	6,026	5,736	7,137	8,474	10,823
50 人 ~ 99 人	5,828	7,486	8,122	9,177	11,455	13,909
100 人 ~ 199 人	3,527	4,457	3,257	5,230	6,999	8,917
200 人 ~ 299 人	1,886	2,522	3,128	2,451	3,612	4,740
300 人 ~ 499 人	3,130	2,822	2,276	3,256	4,851	4,252
500 人 ~ 999 人	2,143	1,305	3,083	1,992	3,145	6,107
1,000 人 以 上	19,000	24,952	21,633	33,637	35,868	44,784

の 推 移

訳					
構 成 比	労 務 者	構 成 比	個人業主及び家族従業者	構 成 比	
19.0	48,225	69.2	8,207	11.8	
18.2	57,200	70.7	9,009	11.1	
19.3	54,544	69.2	9,100	11.5	
18.9	68,428	71.8	8,926	9.3	
18.5	79,864	73.0	9,362	8.5	
18.6	97,745	73.9	9,990	7.5	
21.0	96,776	71.7	9,985	7.3	

者 の 構 成

者									
員		勞 務 者				個人業主及び家族従業者			
昭 和 37 年		昭 和 36 年		昭 和 37 年		昭 和 36 年		昭 和 37 年	
人 員	構 成 比	人 員	構 成 比	人 員	構 成 比	人 員	構 成 比	人 員	構 成 比
28,297	21.0	97,745	73.9	96,776	71.6	9,990	7.6	9,985	7.4
2,189	12.7	10,565	63.5	11,014	63.9	4,080	24.5	4,025	23.4
394	8.7	3,207	73.2	3,397	74.7	774	17.7	756	16.6
344	7.5	2,687	77.0	3,670	79.5	567	16.2	600	13.0
1,021	12.2	5,722	74.0	6,191	74.1	1,107	14.3	1,145	13.7
162	8.3	1,021	65.5	1,326	68.3	410	26.3	454	23.4
292	14.5	1,281	77.7	1,546	76.8	162	9.8	175	8.7
382	21.1	1,120	64.2	1,227	67.6	214	12.3	205	11.3
557	30.5	1,283	66.7	1,135	62.1	143	7.4	136	7.4
80	31.6	218	69.4	167	66.0	4	1.3	6	2.4
16	5.2	384	89.4	272	89.2	23	5.3	17	5.6
51	10.0	302	78.8	419	82.2	44	11.5	40	7.8
1,212	12.4	7,113	77.7	7,649	77.9	967	10.5	948	9.7
988	28.2	655	86.1	2,490	71.1	20	2.6	23	0.7
2,438	30.9	6,228	72.4	5,442	68.9	10	0.1	18	0.2
587	13.5	3,071	82.6	3,499	80.8	249	6.7	249	5.7
2,556	24.2	6,689	81.3	7,856	74.3	175	2.1	154	1.5
13,248	30.6	35,751	74.3	29,779	68.7	284	0.6	284	0.7
407	11.1	4,496	78.0	3,091	84.4	175	3.0	166	4.5
541	14.6	2,283	83.5	3,100	83.5	68	2.5	69	1.9
832	17.1	3,669	74.0	3,506	72.3	514	10.4	515	10.6

業 者 数

数	構 成 比						
	昭 和 31 年	昭 和 32 年	昭 和 33 年	昭 和 34 年	昭 和 35 年	昭 和 36 年	昭 和 37 年
135,058	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
8,727	11.5	10.6	10.8	8.7	7.6	6.7	6.4
8,870	11.3	10.4	10.7	8.4	7.9	6.6	6.6
13,348	11.9	11.6	11.8	10.5	10.5	9.8	9.9
10,248	6.5	6.2	6.8	6.4	6.0	6.2	7.6
10,406	7.7	7.5	7.3	7.5	7.7	8.2	7.7
15,795	8.4	9.2	10.3	9.6	10.5	10.5	11.7
11,071	5.1	5.5	4.1	5.5	6.4	6.7	8.2
3,574	2.7	3.1	4.0	2.6	3.3	3.6	2.6
5,156	4.5	3.5	2.9	3.4	4.4	3.2	3.8
6,581	3.1	1.6	3.9	2.1	2.9	4.6	4.9
41,282	27.3	30.8	27.4	35.3	32.8	33.8	30.6

第 8 表

## 地 域 別 従 業 者 数

市 郡 別	従 業 者 数	前 年 対 比	1 事 業 所 当 り	
			従 業 者 数	前 年 対 比
総 数	135,058	102.1	18.7	100.5
市 部	107,136	99.2	25.6	98.1
郡 部	27,922	114.7	9.2	112.2
泉 北 市	90,682	97.3	30.7	96.5
水 戸 立 市	8,564	102.2	12.9	102.4
日 立 市	52,042	90.2	70.3	90.9
那 珂 湊 市	1,634	97.0	11.3	98.3
常 陸 太 田 市	1,632	104.4	10.2	106.3
勝 田 市	12,287	122.8	128.0	116.5
高 萩 市	1,761	111.6	18.2	105.2
北 茨 城 市	1,430	110.2	11.8	98.3
笠 間 市	1,615	99.8	18.8	102.2
東 茨 城 郡	3,063	110.1	9.5	111.8
西 茨 城 郡	2,029	94.3	11.0	92.4
那 珂 慈 郡	2,616	104.3	16.0	101.3
久 慈 郡	1,902	102.1	12.3	103.4
多 賀 郡	107	92.2	7.6	118.8
鹿 行 郡	3,868	107.0	6.5	106.6
鹿 島 郡	2,252	99.2	6.0	105.3
行 方 郡	1,616	120.2	7.5	111.9
泉 南 市	17,736	116.4	12.8	115.3
土 浦 市	4,312	109.1	11.7	111.4
石 岡 市	3,985	110.1	16.5	108.6
竜 崎 市	2,077	107.4	18.5	108.8
稲 敷 郡	2,025	109.6	13.6	109.7
新 治 郡	1,217	131.9	6.1	122.0
筑 波 郡	1,168	122.7	6.7	126.4
北 相 馬 郡	2,952	147.0	21.5	144.3
泉 西 市	22,772	112.6	10.0	108.7
古 河 市	5,120	104.5	11.0	102.8
下 館 市	5,060	99.6	17.5	96.7
結 城 市	3,223	122.5	9.0	121.6
下 妻 市	997	123.9	10.7	121.6
水 海 道 市	1,397	113.2	10.0	109.9
真 壁 郡	2,538	105.9	6.9	101.5
結 城 郡	1,499	119.5	5.6	112.0
猿 島 郡	2,938	152.5	9.6	135.2

第9表-1

## 産 業 別 出 荷 額

(単位万円)

産 業 別	昭 和 3 5 年		昭 和 3 6 年		昭 和 37 年		
	出 荷 額 等	36年対比	出 荷 額 等	36年=100	出 荷 額 等	36年対比	構 成 比
総 数	19,041,376	72.8	26,162,653	100.0	28,580,649	109.2	100.0
食 料	2,458,252	85.1	2,887,516	100.0	3,338,494	115.6	11.7
織 維	369,004	73.6	501,218	100.0	707,526	141.2	2.5
衣 服	109,066	83.0	131,380	100.0	211,641	161.1	0.7
木 材	726,858	77.1	942,587	100.0	1,079,092	114.5	3.8
家 具	77,888	73.9	105,431	100.0	144,161	136.7	0.5
パ ル プ	301,158	97.6	308,530	100.0	519,669	168.4	1.8
出 版	92,121	82.1	112,192	100.0	128,971	115.0	0.5
化 学	415,582	75.6	549,769	100.0	623,391	113.4	2.2
石 油	85,585	89.3	95,795	100.0	98,081	102.4	0.3
ゴ ム	4,808	37.6	12,799	100.0	13,277	103.7	0.0
皮 革	46,233	70.5	65,591	100.0	95,003	144.8	0.3
窯 業	794,866	83.3	954,000	100.0	1,001,303	105.0	3.5
鉄 鋼	559,774	805.5	69,497	100.0	762,058	1096.5	2.7
非 鉄	4,063,697	84.7	4,798,080	100.0	4,577,941	95.4	16.0
金 属	190,532	72.3	263,618	100.0	377,305	143.1	1.3
機 械	701,751	72.0	974,241	100.0	1,934,759	198.6	6.8
電 機	7,379,367	65.3	11,293,766	100.0	11,247,989	99.6	39.3
輸 送 機	352,959	23.3	1,515,202	100.0	590,269	39.0	2.1
情 報 機	93,167	46.2	201,858	100.0	478,865	237.2	1.7
そ の 他	218,701	57.6	379,573	100.0	650,854	171.5	2.3

第9表-2

## 1 事業所当りの出荷額

(単位万円)

産 業 別	昭 和 3 5 年		昭 和 3 6 年		昭 和 3 7 年	
	出 荷 額	36年対比	出 荷 額	36年=100	出 荷 額	36年対比
総 数	2,879	78.2	3,683	100.0	3,962	107.6
食 料	1,081	86.2	1,254	100.0	1,477	117.8
織 維	995	94.5	1,053	100.0	1,512	143.6
衣 服	327	92.6	353	100.0	520	147.3
木 材	752	79.2	950	100.0	1,091	114.8
家 具	233	76.4	305	100.0	397	130.2
パ ル プ	3,422	117.6	2,911	100.0	4,949	170.1
出 版	622	91.5	680	100.0	772	113.5
化 学	3,614	75.6	4,781	100.0	5,667	118.5
石 油	14,264	119.1	11,974	100.0	14,012	117.0
ゴ ム	301	37.6	800	100.0	1,328	166.0
皮 革	1,778	86.7	2,050	100.0	2,436	118.8
窯 業	1,256	88.9	1,413	100.0	1,426	100.9
鉄 鋼	21,530	929.2	2,317	100.0	18,144	783.1
非 鉄	270,913	31.0	873,913	100.0	138,725	158.7
金 属	843	79.3	1,063	100.0	1,418	133.4
機 械	3,617	79.4	4,553	100.0	8,755	162.3
電 機	27,535	93.1	29,565	100.0	27,301	92.3
輸 送 機	2,486	23.6	10,522	100.0	3,712	35.3
精 機	1,391	52.4	2,656	100.0	5,912	222.5
そ の 他	611	60.0	1,018	100.0	1,750	171.9



第 10 表 - 1

## 規 模 別 出 荷 額

(單位万円)

規 模 別	昭 和 35 年		昭 和 36 年		昭 和 37 年		
	出 荷 額 等	36年対比	出 荷 額 等	36年=100	出 荷 額 等	36年対比	構 成 比
總 数	19,041,371	72.8	26,162,648	100.0	28,580,649	109.2	100.0
3 人 以 下	388,693	85.7	456,733	100.0	524,282	114.8	1.8
4 人 ~ 9 人	604,498	89.4	675,433	100.0	771,820	114.3	2.7
10 人 ~ 19 人	1,031,452	81.0	1,273,105	100.0	1,446,422	113.6	5.1
20 人 ~ 29 人	622,102	72.1	863,166	100.0	1,092,930	126.6	3.8
30 人 ~ 49 人	687,400	71.7	958,977	100.0	1,220,931	127.3	4.3
50 人 ~ 99 人	1,075,248	76.3	1,408,970	100.0	1,797,736	127.6	6.3
100 人 ~ 199 人	889,322	80.6	1,103,927	100.0	1,797,978	162.9	6.3
200 人 ~ 299 人	722,022	71.2	1,013,623	100.0	1,020,776	100.7	3.6
300 人 ~ 499 人	1,149,227	200.6	572,888	100.0	1,558,741	272.1	5.4
500 人 ~ 999 人	752,970	42.5	1,770,846	100.0	1,792,420	101.2	6.3
1,000 人 以 上	11,118,437	69.2	16,064,980	100.0	15,556,613	96.8	54.4

第 10 表 - 2

## 1 事 業 所 当 り 規 模 別 出 荷 額

(單位万円)

規 模 別	昭 和 35 年		昭 和 36 年		昭 和 37 年	
	出 荷 額 等	36年対比	出 荷 額 等	36年=100	出 荷 額 等	36 年 対 比
總 数	2,879	78.2	3,683	100.0	3,962	107.6
3 人 以 下	107	89.9	119	100.0	138	116.0
4 人 ~ 9 人	442	89.5	494	100.0	561	113.6
10 人 ~ 19 人	1,206	90.0	1,340	100.0	1,468	109.6
20 人 ~ 29 人	2,238	89.7	2,495	100.0	2,572	103.1
30 人 ~ 49 人	3,042	91.7	3,318	100.0	4,424	133.3
50 人 ~ 99 人	6,325	91.6	6,907	100.0	7,618	110.3
100 人 ~ 199 人	17,438	104.3	16,726	100.0	21,662	129.5
200 人 ~ 299 人	51,573	101.8	50,681	100.0	68,052	134.3
300 人 ~ 499 人	95,769	183.9	52,081	100.0	119,903	230.2
500 人 ~ 999 人	188,243	106.3	177,085	100.0	199,158	112.5
1,000 人 以 上	1,588,348	108.8	1,460,453	100.0	1,555,661	106.5

第 11 表

## 地 域 別 出 荷 額

(単位万円)

	出 荷 額 等	前 年 対 比	1 事 業 所 当 り	構 成 比
総 数	28,580,649	109.2	3,962	100.0
市 部	25,152,793	105.5	6,019	88.0
郡 部	3,427,856	147.0	1,129	12.0
県	22,206,035	116.9	7,525	77.7
水 戸 市	1,440,497	108.5	2,163	5.0
日 立 市	15,766,470	97.5	21,306	55.2
那 珂 湊 市	158,344	100.8	1,092	0.6
常 陸 太 田 市	166,304	108.8	1,039	0.6
勝 田 市	2,839,730	121.7	29,581	9.9
高 萩 市	405,895	117.0	4,184	1.4
北 茨 城 市	183,168	123.5	1,514	0.7
笠 間 市	138,363	115.0	1,609	0.5
東 茨 城 郡	360,707	160.1	1,113	1.3
西 茨 城 郡	157,111	107.9	854	0.5
那 珂 郡	303,059	131.0	1,859	1.1
久 慈 郡	274,047	121.2	1,768	0.9
多 賀 郡	12,340	106.5	881	0.0
鹿 行 郡	550,303	113.5	928	1.9
鹿 島 郡	364,514	110.0	964	1.3
行 方 郡	185,789	116.9	864	0.6
県	2,814,807	143.1	2,037	9.9
土 浦 市	456,853	109.6	1,238	1.6
石 岡 市	808,377	177.0	3,354	2.8
竜 崎 市	550,354	93.3	4,914	1.9
稻 敷 郡	380,913	121.2	2,556	1.4
新 治 郡	106,003	173.5	533	0.4
筑 波 郡	75,633	121.6	432	0.3
北 相 馬 郡	436,674	205.2	3,187	1.5
県	3,009,504	163.3	1,315	10.5
古 河 市	754,132	146.4	1,622	2.6
下 館 市	855,773	131.5	2,961	3.0
結 城 市	371,186	154.2	1,034	1.3
下 妻 市	111,062	129.3	1,194	0.4
水 海 道 市	146,285	130.1	1,045	0.5
真 壁 郡	206,189	135.6	559	0.7
結 城 郡	77,182	128.8	290	0.3
猿 島 郡	487,695	349.0	1,589	1.7

第 12 表

産業別 1 人当り 1 ヶ月の現金給与額 (4人以上)

(単位万円)

産 業 別	昭 和 35 年		昭 和 36 年		昭 和 37 年	
	給 与 額	36年対比	給 与 額	36年=100	給 与 額	36年対比
総 数	1.7	89.5	1.9	100.0	2.1	110.5
食 料	1.3	86.7	1.5	100.0	1.8	120.0
織 維	0.9	81.8	1.1	100.0	1.4	127.3
衣 服	0.8	88.9	0.9	100.0	1.1	122.2
木 材	1.1	78.6	1.4	100.0	1.5	107.1
家 具	1.1	78.6	1.4	100.0	1.6	114.3
パ ル プ	1.4	93.3	1.5	100.0	2.0	133.3
出 版	1.5	93.7	1.6	100.0	2.1	131.3
化 学	1.9	89.1	2.1	100.0	2.4	114.3
石 油	1.6	94.1	1.7	100.0	2.1	123.5
ゴ ム	0.7	77.8	0.9	100.0	1.2	133.3
皮 革	1.6	88.9	1.8	100.0	2.1	116.7
窯 業	1.7	89.5	1.9	100.0	2.2	115.8
鉄 鋼	2.2	129.4	1.7	100.0	2.8	164.7
非 鉄	2.5	104.3	2.4	100.0	3.0	125.0
金 属	1.2	80.0	1.5	100.0	1.8	120.0
機 械	1.6	94.1	1.7	100.0	2.3	135.3
電 機	2.1	95.5	2.2	100.0	2.3	104.5
輸 送 機	1.3	59.1	2.2	100.0	1.7	77.3
精 機	1.4	93.3	1.5	100.0	1.7	113.3
そ の 他	1.1	78.6	1.4	100.0	1.7	121.4

第 13 表

規模別 1 人当り 1 ヶ月の現金給与額 (4人以上)

(単位万円)

規 模 別	昭 和 35 年		昭 和 36 年		昭 和 37 年	
	給 与 額	36年対比	給 与 額	36年=100	給 与 額	36年対比
総 数	1.7	89.5	1.9	100.0	2.1	110.5
4人 ~ 9人	1.0	83.3	1.2	100.0	1.4	116.7
10人 ~ 19人	1.1	84.6	1.3	100.0	1.5	115.4
20人 ~ 29人	1.2	85.7	1.4	100.0	1.6	114.1
30人 ~ 49人	1.2	92.3	1.3	100.0	1.7	130.8
50人 ~ 99人	1.2	85.7	1.4	100.0	1.6	114.3
100人 ~ 199人	1.3	86.7	1.5	100.0	1.9	126.7
200人 ~ 299人	1.3	86.7	1.5	100.0	2.0	133.3
300人 ~ 499人	1.7	100.0	1.7	100.0	1.9	111.8
500人 ~ 999人	2.4	109.1	2.2	100.0	2.4	109.1
1,000人以上	2.5	96.2	2.6	100.0	2.8	107.7

第 14 表

市 町 村 別, 事 業 所 数, 従 業 者 数,

市 町 村 別	事 業 所 数			従 業 者 数		
	計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
總 数	7,214	3,787	3,427	135,058	8,727	126,331
市 計	4,179	1,940	2,239	107,136	4,394	102,742
郡 計	3,035	1,847	1,188	27,922	4,333	23,589
水 戸 市	666	296	370	8,564	650	7,914
日 立 市	740	215	525	52,042	515	51,527
土 浦 市	369	178	191	4,312	414	3,898
古 河 市	465	251	214	5,120	510	4,610
石 岡 市	241	106	135	3,985	228	3,757
下 館 市	289	133	156	5,060	287	4,773
結 城 市	359	258	101	3,223	551	2,672
竜 崎 市	112	58	54	2,077	142	1,935
那 珂 湊 市	145	84	61	1,634	222	1,412
下 妻 市	93	56	37	997	134	863
水 海 道 市	140	79	61	1,397	182	1,215
常 陸 太 田 市	160	75	85	1,632	180	1,452
勝 田 市	96	27	69	12,287	61	12,226
高 萩 市	97	46	51	1,761	114	1,647
北 茨 城 市	121	37	84	1,430	95	1,335
笠 間 市	86	41	45	1,615	109	1,506
東 茨 城 郡	324	172	152	3,063	402	2,661
常 澄 村	19	14	5	223	31	192
茨 城 町	24	12	12	284	26	258
小 川 町	30	11	19	383	30	353
美 野 里 町	29	19	10	389	38	351
内 原 村	19	15	4	74	30	44
常 北 町	19	8	11	102	19	83
桂 村	21	18	3	71	37	34
御 前 山 村	21	10	11	149	22	127
大 洗 町	142	65	77	1,388	169	1,219
西 茨 城 郡	184	98	86	2,029	235	1,794
友 部 町	50	24	26	902	50	852
岩 間 町	58	41	17	316	95	221
七 会 村	3	—	3	61	—	61
岩 瀬 町	73	33	40	750	90	660
那 珂 郡	163	92	71	2,616	223	2,393
東 海 村	22	12	10	537	33	504
那 珂 町	42	28	14	908	71	837

原 材 料 使 用 額, 製 造 品 出 荷 額 等

原 材 料 使 用 額 等			製 造 品 出 荷 額 等		
計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
18,254,796	323,164	17,931,632	28,580,649	524,282	28,056,367
16,081,060	150,940	15,930,120	25,152,793	256,109	24,896,684
2,173,736	172,224	2,001,512	3,427,856	268,173	3,159,683
894,297	20,490	873,807	1,440,497	34,861	1,405,636
9,846,766	18,637	9,828,129	15,766,470	32,391	15,734,079
278,139	18,865	259,274	456,853	29,755	427,098
428,822	10,802	418,020	754,132	22,145	731,987
625,675	6,846	618,829	808,377	11,833	796,544
631,969	9,870	622,099	855,773	15,681	840,092
262,402	9,682	252,720	371,186	19,462	351,724
325,785	3,702	322,083	550,354	7,449	542,905
94,844	22,965	71,879	158,344	33,800	124,544
69,645	3,100	66,545	111,062	6,425	104,637
94,640	4,177	90,463	146,285	7,135	139,150
101,051	5,694	95,357	166,304	9,181	157,123
1,785,697	1,983	1,783,714	2,839,730	3,559	2,836,171
434,860	3,501	431,359	405,895	6,358	399,537
140,554	6,099	134,455	183,168	8,861	174,307
65,914	4,527	61,387	138,363	7,213	131,150
226,471	13,815	212,656	360,707	24,208	336,499
6,615	743	5,872	13,894	2,732	11,162
20,354	510	19,844	31,165	781	30,384
27,785	1,599	26,186	40,045	2,032	38,013
46,903	1,169	45,734	75,749	1,714	74,035
4,358	346	4,012	6,400	597	5,803
5,821	382	5,439	10,007	741	9,266
2,382	1,271	1,111	4,131	2,222	1,909
8,028	317	7,711	15,661	499	15,162
104,225	7,478	96,747	163,655	12,890	150,765
75,166	4,923	70,243	157,111	9,057	148,054
38,505	1,038	37,467	83,866	1,791	82,075
11,166	2,319	8,847	18,249	3,665	14,584
337	—	337	2,604	—	2,604
25,158	1,566	23,592	52,392	3,601	48,791
216,748	6,523	210,225	303,059	12,457	290,602
21,660	908	20,752	29,271	2,175	27,096
122,133	2,358	119,775	152,481	3,850	148,631

市 町 村 別	事 業 所 数			従 業 者 数		
	計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
瓜 連 町	11	7	4	54	21	33
大 宮 町	20	14	6	424	28	396
山 方 町	27	14	13	200	34	166
美 和 村	24	5	19	415	13	402
緒 川 村	17	12	5	78	23	55
久 慈 郡	155	40	115	1,902	99	1,803
金 砂 郷 村	24	7	17	160	17	143
水 府 村	18	1	17	191	2	189
里 美 村	29	6	23	428	16	412
大 子 町	84	26	58	1,123	64	1,059
多 賀 郡	14	7	7	107	15	92
十 王 町	14	7	7	107	15	92
鹿 島 郡	378	200	178	2,252	533	1,719
旭 村	23	20	3	77	42	35
鉦 田 町	30	15	15	248	44	204
大 洋 村	27	13	14	134	35	99
大 野 村	38	6	32	260	18	242
鹿 島 町	53	34	19	329	80	249
神 栖 村	56	49	7	203	140	63
波 崎 町	151	63	88	1,001	174	827
行 方 郡	215	156	59	1,616	382	1,234
麻 生 町	68	56	12	277	136	141
牛 堀 町	17	7	10	153	11	142
潮 来 町	63	37	26	873	81	792
北 浦 村	17	11	6	149	29	120
玉 造 町	50	45	5	164	125	39
稻 敷 郡	149	98	51	2,025	236	1,789
江 戸 崎 町	10	5	5	83	14	69
美 浦 村	13	13	—	34	34	—
阿 見 町	24	11	13	753	25	728
牛 久 町	47	25	22	906	60	846
荃 崎 村	8	7	1	28	18	10
新 利 根 村	7	4	3	45	10	35
河 内 村	15	12	3	87	29	58
桜 川 村	16	15	1	48	39	9
東 村	9	6	3	41	7	34

原 材 料 使 用 額 等			製 造 品 出 荷 額 等		
計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
2,646	1,403	1,243	万円 4,452	万円 1,401	万円 3,051
8,257	411	7,846	28,012	870	27,142
15,977	388	15,589	28,653	720	27,933
41,114	681	40,433	54,085	2,853	51,232
4,961	374	4,587	6,105	588	5,517
169,232	13,593	155,639	274,047	18,267	255,780
6,209	407	5,802	11,803	612	11,191
13,968	25	13,943	22,829	48	22,781
41,195	820	40,375	56,802	1,271	55,531
107,860	12,341	95,519	182,613	16,336	166,277
5,174	351	4,823	12,340	742	11,598
5,174	351	4,823	12,340	742	11,598
297,752	42,014	255,738	364,514	55,347	309,167
9,475	3,489	5,986	10,891	2,277	8,614
23,443	4,788	18,655	34,231	6,327	27,904
8,539	1,409	7,130	11,403	1,837	9,566
20,835	785	20,050	24,916	1,113	23,803
15,830	6,047	9,783	19,879	7,605	12,274
35,467	19,769	15,698	44,860	27,768	17,092
184,163	5,727	178,436	218,334	8,420	209,914
76,671	16,906	59,765	185,789	28,403	157,386
15,171	6,197	8,974	24,088	10,819	13,269
3,860	99	3,761	9,410	279	9,131
38,392	3,766	34,626	120,522	6,023	114,499
11,420	589	10,831	15,977	1,260	14,717
7,828	6,255	1,573	15,792	10,022	5,770
207,339	6,537	200,802	380,913	11,280	369,633
4,958	197	4,761	8,789	483	8,306
1,389	1,389	—	2,060	2,060	—
150,342	755	149,587	278,647	1,405	277,242
44,483	1,848	42,635	75,513	3,358	72,155
603	511	92	1,125	805	320
2,164	307	1,857	5,687	560	5,127
1,344	665	679	4,095	1,346	2,749
1,035	784	251	2,252	1,095	1,157
1,021	81	940	2,745	168	2,577

市 町 村 別	事 業 所 数			従 業 者 数		
	計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
新 治 郡	199	141	58	1,217	333	884
出 島 村	52	43	9	180	94	86
玉 里 村	7	5	2	34	14	20
八 郷 町	66	45	21	373	104	269
千 代 田 村	7	2	5	101	6	95
新 治 村	39	32	7	251	83	168
桜 村	28	14	14	278	32	246
筑 波 郡	175	125	50	1,168	315	853
谷 田 部 町	28	12	16	409	27	382
伊 奈 村	11	8	3	42	23	19
谷 和 原 村	17	11	6	96	31	65
豊 里 町	22	19	3	80	48	32
筑 波 町	59	44	15	343	109	234
大 穂 町	38	31	7	198	77	121
真 壁 郡	369	235	134	2,538	473	2,065
関 城 町	113	89	24	464	141	323
明 野 町	26	23	3	102	46	56
真 壁 町	186	97	89	1,693	222	1,471
大 和 村	10	2	8	146	6	140
協 和 村	34	24	10	133	58	75
結 城 郡	266	185	81	1,499	433	1,066
八 千 代 村	64	61	3	168	131	37
千 代 川 村	39	32	7	191	84	107
石 下 町	163	92	71	1,140	218	922
猿 島 郡	307	226	81	2,938	485	2,453
総 和 村	58	38	20	940	69	871
五 霞 村	14	14	—	23	23	—
三 和 村	21	16	5	196	31	165
猿 島 町	44	33	11	222	82	140
岩 井 町	106	74	32	1,061	166	895
境 町	64	51	13	496	114	382
北 相 馬 郡	137	72	65	2,952	169	2,783
守 谷 町	18	14	4	153	37	116
取 手 町	83	38	45	2,251	88	2,163
藤 代 町	26	10	16	526	22	504
利 根 町	10	10	—	22	22	—



原 材 料 使 用 額 等			製 造 品 出 荷 額 等		
計	3 人 以 下	4 人 以 上	計	3 人 以 下	4 人 以 上
65,245	15,966	49,279	106,003	22,336	83,667
10,038	3,589	6,449	15,470	4,862	10,608
7,877	563	7,314	9,282	782	8,500
19,916	7,611	12,305	30,378	10,181	20,197
6,694	384	6,310	7,498	512	6,986
5,860	2,847	3,013	12,227	4,270	7,957
14,860	972	13,888	31,148	1,729	29,419
40,415	7,819	32,596	75,633	14,186	61,447
8,388	896	7,492	15,808	1,526	14,282
1,695	684	1,011	2,926	1,406	1,520
2,631	742	1,889	4,962	1,150	3,812
3,847	542	3,305	8,247	1,333	6,914
18,220	2,707	15,513	32,677	5,098	27,579
5,634	2,248	3,386	11,013	3,673	7,340
97,220	9,655	87,565	206,189	16,487	189,702
35,074	2,352	32,722	52,738	3,488	49,250
6,545	247	6,298	16,721	790	15,931
51,524	5,697	45,827	123,953	9,163	114,790
1,621	8	1,613	6,636	135	6,501
2,456	1,351	1,105	6,141	2,911	3,230
45,547	10,013	35,534	77,182	16,921	60,261
3,885	2,686	1,199	7,588	5,141	2,447
5,574	2,092	3,482	8,668	3,775	4,893
36,088	5,235	30,853	60,926	8,005	52,921
346,196	17,852	328,344	487,695	27,671	460,024
136,519	2,305	134,214	185,209	3,935	181,274
180	180	—	617	617	—
16,199	1,733	14,466	29,355	2,469	26,886
14,941	3,704	11,237	20,414	5,461	14,953
146,453	5,602	140,851	204,731	8,650	196,081
31,904	4,328	27,576	47,369	6,539	40,830
304,560	6,257	298,303	436,674	10,811	425,863
4,330	910	3,420	5,775	1,655	4,120
275,475	3,465	272,010	387,804	6,172	381,632
24,354	1,481	22,873	42,363	2,252	40,111
401	401	—	732	732	—

# 昭和38年2月

## 冬期農業基本調査結果

### 1 戦前に戻りつつある農家数

本県の農業事業体数は、昭和38年2月1日現在で208,224戸本県総世帯数の約50%である。5年前の8月1日現在の農業事業体数は211,559戸さらに10年前では212,957戸となつているから5年間に1,398戸10年間で4,733戸の減少である。

減少した農家を経営規模別にみると第2表でもわかるように1反～1町までの農家が9,410戸の減少、このうち実際に離農した戸数は4,733戸これら農家は国内経済事情特に商工部門の急速な回復に伴つて、他の産業に移つていった者、又戦後の食糧事情の好転などにより都市への復帰などであると思われる。残りの4,677戸は自己の経営規模を拡大したり、兼業などをして現在も農業を営んでいる農家である。

昭和24年8月の農家数は221,271戸にふくれ上つたが昭和28年の調査では212,957戸となりこれに対し10年後の昭和38年には208,224戸と減少を示し、このまま推移

第1表 農業事業体 (単位 戸)

	農家数	その他の農業事業体数
昭和28年	212,638	319
昭和38年	208,923	201
増減	△ 4,615	△ 118

△は減を示す。

第2表 耕地広狭別事業体数 (単位 戸)

	総数	5畝～1反	1反～3反	3反～5反	5反～1町	1町～1.5町	1.5町～2町	2町～3町	3町以上
昭和28年	212,957	4,636	26,997	26,910	63,698	52,283	26,836	10,892	705
昭和38年	208,224	4,952	24,412	25,363	58,420	53,762	28,699	11,897	719
増減	△ 4,733	316	△ 2,585	△ 1,547	△ 5,278	1,479	1,863	1,005	14

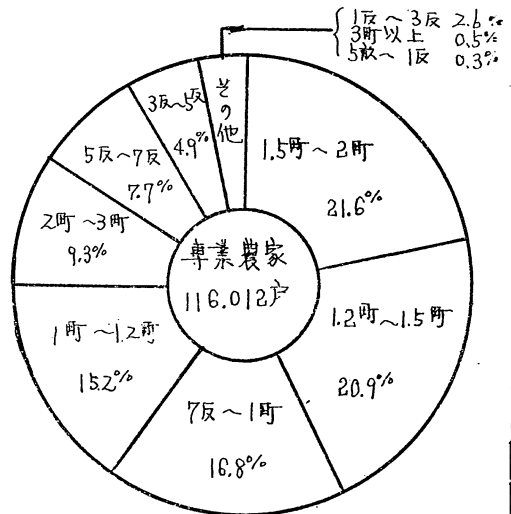
△は減を示す。

するともう少しで昭和21年即ち戦前の農家数198,000戸に戻るものといえる。

この減少農家を郡別にみると久慈郡、那珂郡がもつとも多くこれは本県の工業地帯である日立、勝田に近いため減少したものと考えられる反面東茨城郡は農家が増加しているがこれは県下で一番開拓地の多い関係からと思われる。

### 専業兼業別農家数

#### 専業農家 (広狭別)



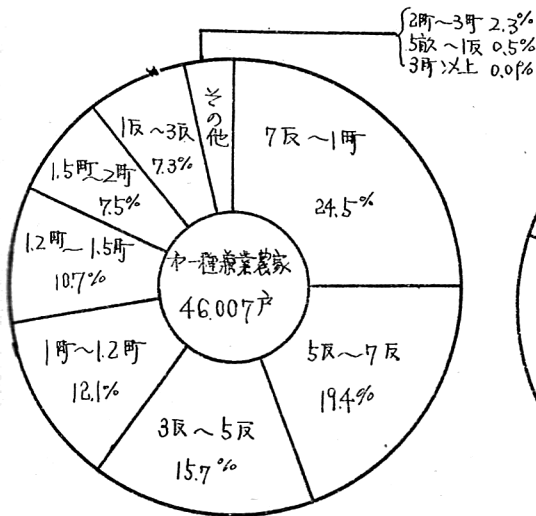
## 2 減少する専業農家, 増加する兼業農家

本年の農家数 208,023 戸を専業兼業別に分けてみると専業農家が全農家の55.8%116,012戸, 第1種兼業22.1%46,007戸, 第2種22.1%46,004これを昭和29年に比較すると専業農家32,637戸の減第1種13,711戸, 第2種14,398戸と増加, しかし専業農家といつても耕地をたくさん

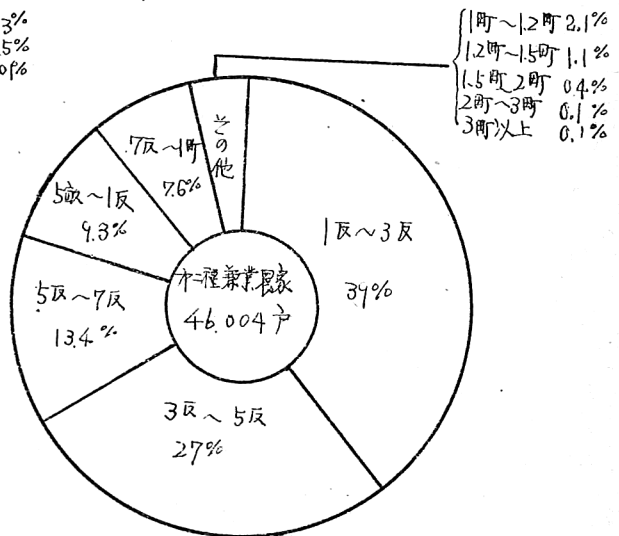
もち農業をやっている家ばかりでなく, 小反別を耕作している農家もあり, 又兼業農家であつても, 専業農家以上の耕地をもち農業を営んでいる農家もある。このような農家はただ調査の約束上兼業農家になつているだけで実際には専業農家とほとんど変りがない農家も数多くあると考えられる。

経営耕地面積に対する昭和38, 29年の農家戸数割合をみると第3表のとおりである。

オ=種兼業農家(広狭別)



オ=種兼業農家(広狭別)



第3表

(単位 戸)

	総 数		専 業		第1種兼業農家		第2種兼業農家	
	昭 2 9	昭 3 8	昭 2 9	昭 3 8	昭 2 9	昭 3 8	昭 2 9	昭 3 8
総 数	212,551 100.0	208,023 100.0	148,649 69.9	116,012 55.8	32,296 15.2	46,007 22.1	31,606 14.9	46,004 22.1
5反未満	57,817 100.0	54,576 100.0	21,932 37.9	9,114 16.7	9,895 17.1	10,813 19.8	25,990 45.0	34,649 63.5
5反~1町	63,345 100.0	58,414 100.0	45,890 72.5	28,565 48.9	12,700 20.0	20,172 34.5	4,755 7.5	9,677 16.6
1町~2町	79,776 100.0	82,452 100.0	70,034 87.8	66,915 81.2	8,908 11.2	13,896 16.8	834 1.0	1,641 2.0
2町~3町	10,963 100.0	11,890 100.0	10,197 93.0	10,786 90.7	745 6.8	1,072 9.0	21 0.2	32 0.3
3町	650 100.0	691 100.0	596 91.7	632 91.5	48 7.4	54 7.8	6 0.9	5 0.7

※ 専業農家……世帯員のうちで自家農業以外で収入のある仕事をしている人が1人もいない農家  
兼業農家……世帯員のうちで自家農業以外で収入のある仕事をしている人が1人以上いる農家  
第1種兼業農家……農業収入が兼業収入より多い農家  
第2種兼業農家……農業収入より兼業収入が多い農家

### 3 冬作物は大麦小麦が主力

本県の麦作付農家数の比重は1町～2町までの層に集中し、総作付農家数の48%である。これからみても麦作が上層にあるのは耕地面積の重心がこの層にあることと、他にこれに代る転作物の少ないことが考えられる。大麦、小麦、裸麦、ビール麦を除いては、年々減少している。これを経営耕地広狭別にみると第4表のとおりである。

主要作物作付面積の比較

	大 麦	小 麦	1町以上 2町未満	2町以上 3町未満
昭和28年	43.2%	41.7%	59%	28%
昭和38年	37.2%	45.2%	12%	3%

14%

### 4 農業の機械化が著しい

本県における農機具の普及台数の推移と農家100戸当り所有台数は、昭和38年の普及台数を昭和28年のそれと比較するとその間に顕著な伸びがあり、これを機種別にみれば第5表のとおりである。このなかで耕うん機の普及度は29台である。このように耕うん機など農機具の普及は農村における労働力の流出及び過重な農作業を機械によつて補い又は軽減しようとするもので一層助長されるものと思われる。

昭和28年との増減は第6表のとおりである。

第4表

階 層 別 作

	総 数		5畝～1反		1反～3反		3反～5反		5反～7反	
	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合	数	割合
大 麦	32,236	100.0	59	0.2	652	2.0	1,428	4.4	2,257	7.0
小 麦	39,184	100.0	102	0.3	1,119	2.8	2,288	5.8	3,214	8.2
ビ ー ル 麦	11,101	100.0	2	0.0	55	0.5	188	1.7	451	4.1
裸 麦	1,254	100.0	2	0.2	28	2.2	56	4.5	95	7.6
な た ね	2,867	100.0	5	0.2	46	1.6	109	3.8	171	6.0

第6表

農 用 機

	トラクター (乗用型)				ハンドトラクター (テラー型)			
	個人所有		共同所有		個人所有		共同所有	
	農家数	台数	農家数	台数	農家数	台数	農家数	台数
昭和28年	—	6	—	5	—	226	—	14
昭和38年	139	139	289	38	58,776	59,169	3,345	1,030
増 減	—	133	—	33	—	58,943	—	1,016

第 5 表

(単位 台)

	普 及 台 数		農 家 100 戸 当 り 台 数	
	昭 和 28 年	昭 和 38 年	昭 和 28 年	昭 和 38 年
電 動 機	31,879	43,961	14.9台	21.1台
発 動 機	25,074	74,437	11.7	35.7
動 力 耕 転 機	251	60,376	0.1	29.0

付 面 積

(単位 町)

7反 ~ 1町		1町~1.2町		1.2町~1.5町		1.5町~2町		2町 ~ 3町		3 町 以 上	
4,684	14.5	4,531	14.1	6,588	20.5	7,743	24.0	4,031	12.5	264	0.8
6,023	15.4	5,397	13.8	7,637	19.5	8,775	22.4	4,317	11.0	313	0.8
1,274	11.5	1,458	13.1	2,485	22.4	3,211	28.9	1,806	16.3	169	1.5
195	15.6	171	13.6	259	20.7	280	22.3	152	12.1	15	1.2
361	12.6	385	13.4	586	20.4	744	26.0	420	14.6	39	1.4

械 台 数

電 動 機				発 動 機			
個 人 所 有		共 同 所 有		個 人 所 有		共 同 所 有	
農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数	農 家 数	台 数
—	31,794	—	85	—	25,024	—	50
40,716	41,117	8,830	2,844	69,494	69,850	139,974	4,587
—	9,323	—	2,759	—	44,826	—	4,537

## 5 増加の著しい家畜、家きん

乳用牛、豚、にわとりなどの家畜は食生活の向上に伴つてめざましい増加を示しているのに対し、役畜は農家における労働力の流出により、これにかわる動力耕うん機の大巾な増加のため年々減少の傾向にある。

これを昭和28年に比較してみると、乳用牛14,741頭の増、役肉用牛3,602頭の減、豚131,267頭の増、にわとり1,070,593羽の増となり、飼育農家数、飼育頭数は第7表のとおりである。

過去3年間の1戸当りの飼育頭羽数は第8表のとおりである。

第7表

(単位 戸、頭)

	乳 用 牛				役 肉 用 牛				豚		にわとり	
	2才未満		2才以上		2才未満		2才以上		飼育農家数	飼育頭数	飼育農家数	飼育頭羽数
	飼育農家数	飼育頭数	飼育農家数	飼育頭数	飼育農家数	飼育頭数	飼育農家数	飼育頭数				
昭和28年	4,065				67,497				67,090		1,018,848	
昭和38年	3,750	5,315	5,965	13,491	15,536	16,735	44,862	47,160	60,066	198,357	127,407	2,089,441
増 減	14,741				△ 3,602				131,267		1,070,593	

△は減を示す

第8表

家畜、家きん、1戸当り飼育頭数

(単位 頭)

年 次	乳用牛	1戸当り 頭 数	役肉用牛	1戸当り 頭 数	豚	1戸当り 頭 数	にわとり	1戸当り 羽 数
昭和36年	13,124	0.06	74,110	0.4	137,930	0.7	1,810,648	9.0
昭和37年	15,741	0.08	71,458	0.3	203,127	1.0	2,240,532	11.0
昭和38年	18,806	0.09	63,895	0.3	198,357	0.9	2,089,441	10.0

# 毎月勤労統計調査結果

## 結果算定の方法

産業および規模別の労働者数、現金給与額、出勤日数および実労働時間数の調査延数にそれぞれの推計比率

(前月末推計労働者÷前月末調査労働者数)を乗じて産業および規模別推計値を算出し、これを加算した産業計および規模計の推計値を前月末および本月末推計労働者数の和半で除して1人平均の月間現金給与額、出勤日数並びに実労働時間数を算出する。これは30人以上規模のすべての事業所に対する復元値である。

なお、この調査は、大分類(製造業を除く)の規模計並びに製造業の主要中分類の「きまつて支給する支給」(総数)について精度が保たれるように設計してある。

## 平均賃金の推移

産業別	現金 給与総額	対前月比	対前年 同月比
	円	%	%
総数	44,165	105.5	6.8
鉱業	33,381	37.6	1.0
建設業	34,593	71.3	49.1
製造業	44,685	121.9	3.1
卸売業・小売業	23,339	1.8	14.4
金融・保険業	51,146	104.0	7.4
運輸通信業	53,517	100.9	16.6
電気ガス水道業	104,512	207.4	14.7

6月分の全産業における1人平均月間給与総額は、44,165円で前月を大中に上廻った。

上表に見られるように全産業で105.5%増、最も増加率の高い電気ガス水道業では207.4%増となった。

これは、本月が賞与月にあたるため、「特別に支払われた給与」の増がこの急増の原因となった。

産業別にみると、電気ガス水道業の70,256円が最高で以下金融・保険業、卸売・小売業、製造業の順になっている。

また、前年同月の数値と比較すると全産業で2.9%増となり建設業の158%が最も高かった。

全産業について、「きまつて支給する給与」をみると22,192円で前月に比べ795円3.7%の増で出勤日数の増とほぼみあっている。

「特別に支払われた給与」は、大きな増加を示し前月の1人当たり92円に対し21,973円になった。

これは、本月が賞与月にあたり全調査事業所の43%の事業所に夏期手当が支給されたためである。前年同月の「特別に支払われた給与」の総額は21,973円であり2.9%の増をみたわけであるが定期給与の伸びが6.4%程度あるので支給率についての比較はむづかしい。

また、6月中に賞与を支給した事業所は比較的規模の大きな事業所に集中されており、規模の小さい事業所は7・8月に支給が持ち越される模様である。

日雇労働者の1人1日平均賃金は、全産業で731円となり前月の727円に比し0.6%増であった。

## 平均実労働時間

		実数	対前月比
		時間	
実労働時間数	総数	202.2	7.9%(15.9時間)増
	所定内	183.6	7.4%(12.7" )"
	所定外	18.6	10%( 9" )"

# 毎月勤労統計調査結果速報 (昭和38年6月分)

## 茨 城 県

第1表 産業常用労働者の種類別及び性別1日平均月間現金給与額並びに産業別臨時及び日雇労働者の1人1日平均現給与額(規模30人以上) (単位円)

産 業 名	現金給与総額			きまつて支給する給与			特別に支払われ た 給 与			臨時及び日 雇労働者の 1日平均現 金給与額
	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	総 数	男 子	女 子	
	円	円	円	円	円	円	円	円	円	
<b>全 常 用 勞 働 者</b>										
総 数	44,165	51,814	20,399	22,192	25,294	12,553	21,973	26,520	7,846	731
D 鉱 業	33,381	35,265	11,658	24,386	25,691	9,336	8,995	9,574	2,322	412
E 建 設 業	34,593	38,572	15,713	21,325	23,469	11,152	13,268	15,103	4,561	986
F 製 造 業	44,685	52,814	18,499	21,121	24,067	11,631	23,564	28,747	6,868	538
18食 料 品	21,548	27,240	11,345	19,954	24,991	10,925	1,594	2,249	420	—
20織 維 工 業	14,614	26,263	11,646	14,614	26,263	11,646	—	—	—	653
26化 学 工 業	48,855	56,639	28,619	22,122	25,817	12,300	26,733	30,822	16,319	—
30窯 業 土 石 製 品	41,098	45,357	21,697	23,498	25,885	12,624	17,600	19,472	9,073	—
32非 鉄 金 属 品	35,894	38,111	17,717	23,707	24,987	13,214	12,187	13,124	4,503	653
33金 属 製 品	19,419	23,297	13,009	15,024	18,115	9,914	4,395	5,182	3,095	373
34機 械 製 造 業	38,371	42,077	24,373	18,180	19,673	12,540	20,191	22,404	11,833	—
35電 機 機 器 具 製 造 業	54,284	63,092	21,007	21,659	24,295	11,698	32,625	38,797	9,309	474
19.38.39 そ の 他	38,943	43,196	31,959	23,396	27,384	16,846	15,547	15,812	15,113	446
G 卸 売 及 び 小 売 業	23,399	33,119	14,597	18,074	23,939	11,904	5,265	9,180	2,693	348
H 金 融 及 び 保 険 業	51,146	63,564	33,518	25,395	31,855	16,225	25,751	31,709	17,293	—
I 不 動 産 業	18,281	21,918	9,751	18,281	21,918	9,751	—	—	—	—
J 運 輸 通 信 業	53,517	60,547	33,071	26,583	29,909	16,910	26,934	30,638	16,161	494
K 電 気 ガ ス 水 道 業	104,512	106,567	55,220	34,256	34,903	18,731	70,256	71,664	36,489	—
L 医 療 保 健 業	51,511	81,627	34,212	25,429	38,584	17,872	26,082	43,043	16,340	416
<b>生 産 勞 働 者</b>										
D 鉱 業	29,463	30,789	9,287	23,953	24,966	8,552	5,510	5,823	735	—
E 建 設 業	29,575	33,739	10,711	19,509	21,768	9,274	10,066	11,971	1,437	—
F 製 造 業	32,926	38,651	16,192	18,261	20,798	10,846	14,665	17,853	5,346	—
18食 料 品	19,251	25,073	10,417	18,117	23,384	10,124	1,134	1,689	293	—
20織 維 工 業	12,400	19,529	11,254	12,400	19,529	11,254	—	—	—	—
26化 学 工 業	34,613	38,778	26,319	19,265	23,055	11,419	15,348	15,723	14,900	—
30窯 業 土 石 製 品	36,302	39,318	20,796	22,022	23,985	11,928	14,280	15,333	8,868	—
32非 鉄 金 属 品	29,678	30,817	15,037	20,853	21,515	12,350	8,825	9,302	2,687	—
33金 属 製 品	17,557	20,543	12,398	13,586	16,024	9,373	3,971	4,519	3,025	—
34機 械 製 造 業	29,464	32,146	18,556	15,289	16,560	10,120	14,175	15,586	8,436	—
35電 機 機 器 具 製 造 業	39,239	45,256	18,838	18,497	20,725	10,962	20,742	24,531	7,926	—
19.38.39 そ の 他	32,589	33,725	31,033	20,568	23,763	16,195	12,021	9,962	14,838	—
<b>管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者</b>										
D 鉱 業	54,907	63,369	16,132	26,756	30,216	10,819	28,151	33,153	5,313	—
E 建 設 業	43,325	46,794	25,417	24,485	26,361	14,797	18,840	20,433	10,620	—
F 製 造 業	71,525	82,766	25,355	27,649	30,981	13,964	43,876	51,785	11,391	—
18食 料 品	28,800	32,628	16,737	25,753	28,985	15,605	3,047	3,643	1,132	—
20織 維 工 業	26,766	35,435	15,835	26,766	35,435	15,835	—	—	—	—
26化 学 工 業	81,809	93,921	33,770	26,004	28,992	14,226	55,805	64,929	19,544	—
30窯 業 土 石 製 品	55,847	65,618	23,633	28,038	32,260	14,119	27,809	33,358	9,514	—
32非 鉄 金 属 品	46,507	52,044	19,647	28,580	31,619	13,836	17,927	20,425	5,811	—
33金 属 製 品	29,607	39,312	16,320	22,894	30,277	12,786	6,713	9,035	3,534	—
34機 械 製 造 業	62,165	70,107	37,044	25,909	28,464	17,811	36,256	41,643	19,233	—
35電 機 機 器 具 製 造 業	83,684	95,296	26,424	27,873	30,742	13,580	55,811	64,554	12,844	—
19.38.39 そ の 他	58,342	65,428	36,752	32,054	35,939	20,216	26,288	29,489	16,536	—



産業常用労働者の種類別及び性別 1日平均月間実労働時間数及び出勤日数

第 2 表

(規模30人以上) (単位時間, 日)

総実労働時間数			所定内労働時間数			所定外労働時間数			出勤日数		女子
総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	
202.2	204.6	194.8	183.6	182.6	186.5	18.6	22.0	8.3	24.4	24.7	23.6
197.6	198.8	184.1	169.2	169.0	171.8	28.4	29.8	12.3	23.4	23.4	23.8
190.5	191.8	184.5	181.6	182.4	177.7	8.9	9.4	6.8	23.8	23.9	23.3
206.8	209.7	197.5	186.5	185.5	189.8	20.3	24.2	7.7	24.6	25.0	23.3
212.7	212.5	213.3	182.7	181.1	186.3	30.0	31.4	27.0	24.9	25.3	24.1
197.6	204.9	195.6	194.2	193.4	194.3	3.4	11.5	1.3	24.9	25.5	24.8
212.7	219.6	194.1	189.0	189.3	188.1	23.7	30.3	6.0	24.6	24.6	24.6
153.7	145.0	193.6	140.1	129.7	187.6	13.6	15.3	6.0	23.9	23.7	25.0
178.8	179.7	172.2	160.8	160.1	167.0	18.0	19.6	5.2	23.4	23.5	22.8
204.4	208.3	197.8	187.2	187.7	186.2	17.2	20.6	11.6	23.7	23.8	23.6
208.3	210.7	199.2	194.1	194.5	192.5	14.2	16.2	6.7	25.3	25.2	25.6
214.9	217.9	203.5	192.7	192.5	193.5	22.2	25.4	10.0	25.0	26.0	24.1
185.2	200.2	160.8	168.1	173.9	158.8	17.1	26.3	2.0	22.3	23.1	21.0
208.7	208.8	208.7	197.5	196.1	199.0	11.2	12.7	9.7	25.3	25.4	25.2
182.8	181.5	185.0	176.7	174.7	179.7	6.1	6.8	5.3	25.2	25.1	25.4
216.9	227.6	191.7	189.8	191.5	185.7	27.1	36.1	6.0	25.3	25.5	24.8
191.0	196.8	176.4	175.9	178.8	167.2	15.1	18.0	9.2	23.7	24.0	23.0
170.7	171.3	159.0	156.2	156.3	154.5	14.5	15.0	4.5	24.0	24.0	22.5
210.1	216.6	206.3	192.4	194.3	191.2	17.7	22.3	15.1	25.3	25.7	25.1
195.6	196.4	183.1	166.3	166.0	170.8	29.3	30.4	12.3	23.0	23.0	23.2
188.3	190.8	177.2	180.1	182.2	170.9	8.2	8.6	6.3	22.9	23.1	22.1
205.1	208.0	196.5	184.6	183.2	188.7	20.5	24.8	7.8	24.1	24.6	22.5
222.9	227.7	215.7	186.0	187.0	184.5	36.9	40.7	31.2	24.8	25.5	23.8
197.4	213.5	194.8	195.0	203.7	193.6	2.4	9.8	1.2	24.8	25.5	24.7
214.4	225.2	192.1	189.4	190.5	187.1	25.0	34.7	5.0	24.4	24.5	24.4
139.9	129.0	196.2	126.0	113.6	190.1	13.9	15.4	6.1	23.8	23.6	24.8
179.2	180.2	164.7	157.7	157.4	160.8	21.5	22.8	3.9	22.4	22.5	21.9
203.8	206.8	198.5	187.0	187.5	186.2	16.8	19.3	12.3	23.6	23.7	23.5
206.7	209.8	194.2	192.0	192.9	188.5	14.7	16.9	5.7	24.9	25.0	24.6
213.3	216.4	203.1	191.6	191.4	192.5	21.7	25.0	10.6	24.3	25.4	24.2
182.9	202.9	155.7	165.6	173.7	154.6	17.3	29.2	1.1	21.9	23.0	20.4
208.7	213.6	186.1	185.1	187.5	173.7	23.6	26.1	12.4	26.1	29.3	25.0
194.3	193.5	198.6	184.1	182.8	190.9	10.2	10.7	7.7	25.3	25.2	25.6
210.9	213.4	200.3	190.9	190.4	192.8	20.0	23.0	7.5	25.8	25.9	25.6
180.8	174.7	205.7	173.2	166.3	200.7	7.6	8.4	5.0	25.3	25.0	26.8
198.5	193.2	205.2	189.6	179.4	202.4	8.9	13.8	2.8	25.5	25.6	25.3
210.3	213.3	198.5	188.5	188.0	190.4	21.8	25.3	8.1	24.9	24.8	25.1
196.5	199.0	188.2	183.6	184.0	182.3	12.9	15.0	5.9	24.3	23.9	25.5
178.3	178.4	177.7	166.2	165.1	171.5	12.1	13.3	6.2	25.2	25.5	23.4
210.9	217.2	202.4	191.1	189.3	193.7	19.8	27.9	8.7	24.5	24.4	24.5
212.6	213.3	209.9	199.6	198.9	201.2	13.0	14.4	8.7	25.9	25.8	26.0
218.6	220.7	204.6	195.5	194.6	196.1	23.1	26.1	8.5	26.3	26.2	26.3
192.8	194.7	187.0	176.4	175.1	180.3	16.4	19.6	6.7	23.7	23.6	24.0

産業常用労働者の種類及び性別月末及び増加減少推計労働者数並びに産業別臨時及び

第 3 表 日雇労働者の年月推計延人員（規模30人以上）（単位、人）

産 業 名	前月末労働者数			本月中の増加			本月中の減少			本月末労働者数			臨時及日雇労働者の月間推計延人員
	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	
全 常 用 勞 働 者													
總 数	128,913	97,578	31,335	2,467	1,539	928	2,294	1,516	778	129,086	97,601	31,485	—
D 鉱 業	9,869	9,088	781	135	117	18	235	222	13	9,769	8,983	786	—
E 建 設 業	5,712	4,725	987	266	207	59	153	128	25	5,825	4,804	1,021	—
F 製 造 業	82,892	63,329	19,563	1,679	987	692	1,476	978	498	83,095	63,338	19,757	—
18食 料 品	3,460	2,215	1,245	94	50	44	105	45	60	3,449	2,220	1,229	—
20織 維 工 業	1,698	338	1,360	12	10	2	35	1	34	1,675	347	1,328	—
26化 学 工 業	1,555	1,130	425	5	5	—	13	11	2	1,547	1,124	423	—
30窯 業 土 石 製 品	3,947	3,235	712	131	118	13	91	82	9	3,987	3,271	716	—
32非 鉄 金 属	6,466	5,764	702	89	54	35	99	64	35	6,456	5,754	702	—
33金 属 製 品 業	1,549	974	575	22	10	12	45	37	8	1,526	947	579	—
34機 械 製 造 業	5,306	4,194	1,112	67	46	21	69	46	23	5,304	4,194	1,110	—
35電 氣 機 械 器 具 製 造 業	42,304	33,533	8,771	963	533	430	752	535	217	42,515	33,531	8,984	—
19.38.39 そ の 他	1,584	985	599	15	5	10	14	7	7	1,585	983	602	—
G 卸 売 及 び 小 売 業	7,949	4,038	3,911	87	39	48	182	14	168	7,854	4,063	3,791	—
H 金 融 及 び 保 険 業	4,784	2,806	1,978	73	43	30	76	44	32	4,781	2,805	1,976	—
I 不 動 産 業	401	280	121	4	4	—	2	1	1	403	283	120	—
J 運 輸 通 信 業	15,371	11,455	3,916	167	86	81	143	102	41	15,395	11,439	3,956	—
K 電 気 ガ ス 水 道 業	1,935	1,857	78	56	56	—	27	27	—	1,964	1,886	78	—
L 医 療 保 健 業	3,323	1,209	2,114	18	8	10	28	5	23	3,313	1,212	2,101	—
生 産 勞 働 者													
D 鉱 業	8,341	7,834	507	131	114	17	213	207	6	8,259	7,741	518	—
E 建 設 業	3,662	3,002	660	137	107	30	134	109	25	3,665	3,000	665	—
F 製 造 業	57,703	43,048	14,655	1,174	623	551	1,163	721	442	57,714	42,950	14,764	—
18食 料 品	2,636	1,582	1,054	54	26	28	79	27	52	2,611	1,581	1,030	—
20織 維 工 業	1,439	194	1,245	10	8	2	35	1	34	1,414	201	1,213	—
26化 学 工 業	896	604	292	3	3	—	8	6	2	891	601	290	—
30窯 業 土 石 製 品	2,983	2,499	484	101	88	13	80	74	6	3,004	2,513	491	—
32非 鉄 金 属	4,087	3,779	308	45	43	2	71	41	30	4,061	3,781	280	—
33金 属 製 品 業	1,308	836	472	15	3	12	44	36	8	1,279	803	476	—
34機 械 製 造 業	3,859	3,097	762	53	32	21	54	32	22	3,858	3,097	761	—
35電 氣 機 械 器 具 製 造 業	27,901	21,616	6,285	687	313	374	568	385	183	28,020	21,544	6,476	—
19.38.39 そ の 他	1,190	688	502	14	4	10	13	6	7	1,191	686	505	—
管 理 事 務 及 び 技 術 勞 働 者													
D 鉱 業	1,528	1,254	274	4	3	1	22	15	7	1,510	1,242	268	—
E 建 設 業	2,050	1,723	327	129	100	29	19	19	—	2,160	1,804	356	—
F 製 造 業	25,189	20,281	4,908	505	364	141	313	257	56	25,381	20,388	4,993	—
18食 料 品	824	633	191	40	24	16	26	18	8	838	639	199	—
20織 維 工 業	259	144	115	2	2	—	—	—	—	261	146	115	—
26化 学 工 業	659	526	133	2	2	—	5	5	—	656	523	133	—
30窯 業 土 石 製 品	964	736	228	30	30	—	11	8	3	983	758	225	—
32非 鉄 金 属	2,379	1,985	394	44	11	33	28	23	5	2,395	1,973	422	—
33金 属 製 品 業	241	138	103	7	7	—	1	1	—	247	144	103	—
34機 械 製 造 業	1,447	1,097	350	14	14	—	15	14	1	1,446	1,097	349	—
35電 氣 機 械 器 具 製 造 業	14,403	11,917	2,486	276	220	56	184	150	34	14,495	11,987	2,508	—
19.38.39 そ の 他	394	297	97	1	1	—	1	1	—	394	297	97	—

# ☆統計資料案内☆

<不 定 期 刊 行 物>

資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者	資 料 名	調査年 刊行年	発 行 者
人 口			鉱工業生産指数	37年	鳥取県統計課
調査区の概要ならびに関係資料の利用	38年	総理府統計局	県民所得推計報告書	36年	〃
従業地に関する結果速報(熊本県)	35年	〃	工業統計調査結果表	〃	長崎県統計課
〃(福島県)	〃	〃	福井県工業統計表	〃	福井県
〃(島根県)	〃	〃	商業統計調査結果報告書	37年	佐賀県統計課
日本の人口構成	1920~	科学技術庁資源局	大阪府賃金の動き	〃	大阪府
〃(説明書)	1975	〃	農業基本調査市町村別結果報告	37年	長崎県統計課
経 済・財 政			広島県統計年鑑	37年2月	広島県
産業連関表の手引	35年	通商産業大臣官房調査統計部	統計資料目録	37年4月	岩手県
法人企業間接費調査集計結果	38年	経済企画庁経済研究所	毎月勤労統計地方調査年報	37年度	宮崎県
国税庁第87回統計年報書	36年度	国 税 庁	県民所得推計年報	36年	広島県
企業経営者の見通し	38年	経済企画庁調査局	京都府市町村勢要覧	38年	京都府
法人企業投資予測統計調査報告	38年度	〃	広島県統計要覧	37年	広島県統計課
個人企業経済調査結果速報	38年1~3月	〃	福井県勢要覧	〃	福井県
社 会			福井県のすがた	38年	〃
就業構造基本調査報告(下巻その1)	37年	総理府統計局	新潟県民所得推計	36年	新潟県
〃(下巻その2)	〃	〃	県民所得	〃	千葉県統計課
労働経済図説	38年	労働大臣官房統計調査部	千葉県統計年鑑	37年	〃
産 業			神奈川県工場名鑑	〃	神奈川県商工部
工業統計調査集計結果	36年	通商産業大臣官房調査統計部	商業統計調査結果表	〃	大阪府
日本の繊維産業統計資料	38年	科学技術庁資源局	大阪府民所得	36年	〃
日本繊維動図	25年	〃	埼玉県の人口	35年	埼玉県
内外のタンカー事情	35年	〃	鳥取県統計年鑑	36年	鳥取県
商業統計調査速報	37年	通商産業大臣官房調査統計部	香川県の商業	37年	香川県統計課
茨 城 県			岡山県統計年報	36年	岡山県統計課
刊 根 川	38年	県秘書公聴課	愛媛県統計年鑑	37年	愛媛県
通勤費(手当)の実態	38年5月	茨城県経営者協会	商業統計調査結果表	〃	長野県統計課
春季賃上げ(昇給)状況調査結果	38年	〃	秋田県勢要覧	38年	秋田県統計課
図 書 目 録	34~38年	茨城県議会図書室	香川県の県民所得	36年度	香川県統計課
本県商業の概況	37年	県統計課	工業製品等流通調査報告書	37年	〃
立地工場一覧表	37~38年	茨城県	県民所得	36年	宮城県
新規立地工場概要	〃	〃	富山県勢要覧	38年	富山県
県民室の動き	37年	県秘書公聴課	鉱工業生産動向	38年1~3月	群馬県統計課
			島根県生産指数	37年	島根県統計課
			工業関係流通実態調査	36年	〃
			農業基本調査結果報告	〃	〃
			個人商工業の実態	〃	石川県

# 茨 城 県 常

市 町 村 別	世 帯	人 口			市 町 村 別	世 帯
		総 数	男	女		
県 計	415,143	2,066,154	1,014,043	1,052,111	那 珂 郡	20,700
市 部 計	220,502	1,145,306	556,845	588,461	東 海 村	2,764
郡 部 計	194,641	920,848	457,198	463,650	那 珂 町	6,075
水 戸 市	33,955	149,956	72,909	77,047	瓜 連 町	1,426
日 立 市	38,673	179,274	94,870	84,404	大 宮 町	4,838
土 浦 市	16,390	76,692	37,459	39,233	山 方 町	2,551
古 河 市	10,393	46,998	22,550	24,448	美 和 村	1,521
石 岡 市	7,433	35,450	16,900	18,550	緒 川 村	1,525
下 館 市	10,397	51,998	25,251	26,747	久 慈 郡	13,984
結 城 市	7,386	36,069	17,306	18,763	金 砂 郷 村	2,734
竜 ヶ 崎 市	7,008	33,750	16,177	17,573	水 府 村	2,188
那 珂 湊 市	7,167	34,770	16,782	17,988	里 美 村	1,384
下 妻 市	5,777	29,036	14,040	14,996	大 子 町	7,678
水 海 道 市	7,416	36,857	17,700	19,157	多 賀 郡 十 王 町	2,307
常 陸 太 田 市	7,332	35,095	17,063	18,032	鹿 島 郡	21,809
勝 田 市	8,856	48,661	26,164	22,497	旭 村	1,990
高 萩 市	7,423	34,769	17,289	17,480	銚 田 町	5,500
北 茨 城 市	12,606	59,893	29,559	30,334	大 洋 村	1,830
笠 間 市	6,447	31,580	15,179	16,401	大 野 村	1,839
東 茨 城 郡	26,057	131,801	64,289	67,512	鹿 島 町	2,985
常 澄 村	1,736	9,553	4,648	4,905	神 栖 村	2,984
茨 城 町	5,601	30,347	14,971	15,376	波 崎 町	4,681
小 川 町	3,055	15,605	7,564	8,041	行 方 郡	13,352
美 野 里 町	2,928	14,504	7,102	7,402	麻 生 町	3,688
内 原 村	3,398	13,236	6,699	6,537	牛 堀 町	1,282
常 北 町	2,358	10,878	5,250	5,628	潮 来 町	3,337
桂 村	1,794	8,431	4,025	4,406	北 浦 村	2,229
御 前 山 村	1,403	6,834	3,283	3,551	玉 造 町	2,816
大 洗 町	4,784	22,413	10,747	11,666	稻 敷 郡	21,778
西 茨 城 郡	11,530	59,059	28,550	30,509	江 戸 崎 町	2,585
友 部 町	3,717	19,080	9,217	9,863	美 浦 町	1,727
岩 間 町	2,704	13,494	6,559	6,935	阿 見 町	4,549
七 会 村	709	3,823	1,877	1,946	牛 久 町	3,355
岩 瀬 町	4,400	22,662	10,897	11,765	荖 崎 村	1,097
					新 利 根 村	1,796
					河 内 村	2,406
					桜 川 村	1,719

# 住 人 口 (昭和38年5月1日現在)

人 口			市 町 村 別	世 帯	人 人			
総 数	男	女			総 数	男	女	
105,590	52,101	53,489	東 村	2,544	13,856	6,659	7,197	
16,038	8,466	7,572	新 治 郡	15,602	79,959	38,927	41,032	
30,662	15,095	15,567		出 島 村	3,451	17,031	8,354	8,677
7,041	3,388	3,653		玉 里 村	957	4,769	2,277	2,492
23,661	11,469	12,192		八 郷 町	5,621	29,862	14,489	15,373
12,569	6,169	6,400		千 代 田 村	2,113	11,265	5,505	5,760
8,049	3,883	4,166		新 治 村	1,622	7,974	3,912	4,062
7,570	3,631	3,939		桜 村	1,838	9,058	4,390	4,668
71,909	34,767	37,142		筑 波 郡	17,228	87,258	42,162	45,096
14,211	6,834	7,377	谷 田 部 町	4,005	20,425	9,980	10,445	
11,326	5,450	5,876	伊 奈 村	2,168	11,747	5,611	6,136	
7,438	3,540	3,898	谷 和 原 村	1,997	10,472	5,059	5,413	
38,934	18,943	19,991	豊 里 町	2,157	10,839	5,263	5,576	
11,073	5,495	5,578	筑 波 町	4,677	22,651	10,852	11,799	
			大 穂 町	2,224	11,124	5,397	5,727	
116,442	56,462	59,980	真 壁 郡	14,191	74,952	36,149	38,803	
11,584	5,582	6,002	関 城 町	2,703	14,735	7,107	7,628	
28,266	13,681	14,585	明 野 町	3,081	16,785	8,095	8,690	
9,856	4,722	5,134	真 壁 町	4,311	21,798	10,469	11,329	
10,109	4,942	5,167	大 和 村	1,444	7,567	3,680	3,887	
16,424	7,894	8,530	協 和 村	2,652	14,067	6,798	7,269	
15,788	7,637	8,151	結 城 郡	9,390	50,311	24,280	26,031	
24,415	12,004	12,411	八 千 代 村	4,199	23,654	11,441	12,213	
70,166	33,451	36,715	千 代 川 村	1,600	8,012	3,851	4,161	
19,121	9,232	9,889	石 下 町	3,591	18,645	8,988	9,657	
6,448	3,031	3,417	猿 島 郡	20,944	118,275	57,945	60,330	
17,653	8,234	9,419	総 和 村	3,518	20,657	10,609	10,048	
12,179	5,790	6,389	五 霞 村	1,516	8,756	4,308	4,448	
14,765	7,164	7,601	三 和 村	3,307	18,864	9,099	9,765	
111,521	54,566	56,955	猿 島 町	2,523	14,450	7,034	7,416	
12,879	6,116	6,763	岩 井 町	5,970	33,372	16,316	17,056	
8,753	4,164	4,589	境 町	4,110	22,176	10,579	11,597	
22,962	11,768	11,194	北 相 馬 郡	11,630	56,990	27,701	29,289	
16,622	8,252	8,370	守 谷 町	2,274	11,374	5,537	5,837	
6,192	3,057	3,135	取 手 町	5,275	23,952	11,661	12,291	
9,092	4,385	4,707	藤 代 町	2,387	12,781	6,191	6,590	
12,377	6,028	6,349	利 根 町	1,694	8,883	4,312	4,571	
8,788	4,137	4,651						

# 茨 城 県 産 業 総

概況 4月の生産指数を3月に比べると総合18.81, 公益事業23.20, 鉱工業18.78, 鉱業8.85  
 製造業20.06それぞれ減である。うち特に増加したものは一般機械工業167.71, 化学工業  
 14.09でこれに反し主に減じたものは電気機械53.98, 精密機械330.17, 食料品工業185.04  
 等である。また本年4月の生産指数を昨年4月に比べると総合23.89, 鉱工業24.23, 製造  
 業27.61それぞれ増, 公益事業30.03, 鉱業2.00減である。特に増加したものは一般機械  
 221.61, 精密機械231.00でこれに反し主に減じたものは鉄鋼業36.97, 皮革工業47.98,  
 製材22.56等である。

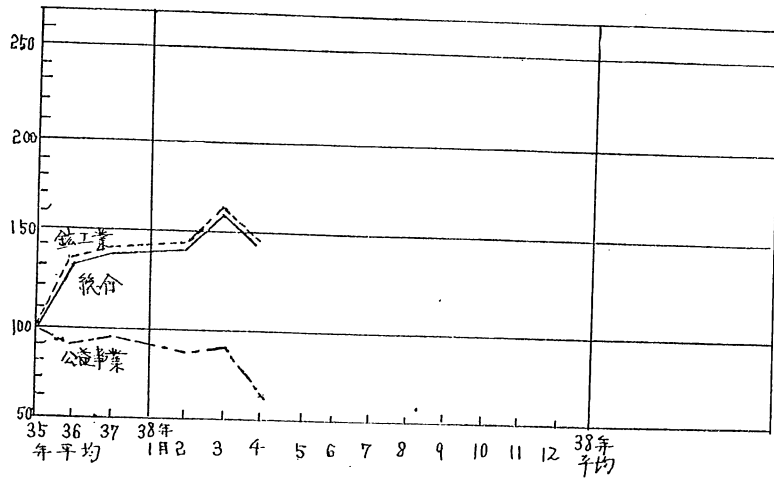
## 茨 城 県 産 業 総 合 生 産 指

分類 年月	産業総合	公益事業	鉱工業	鉱業	業	
					石炭鉱業	金属鉱業
ウエイト	100.00	0.60	99.40	11.42	70.92	25.69
昭和35年平均	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
“ 36年 “	132.31	96.86	132.52	102.92	101.79	103.76
“ 37年 “	133.54	97.24	133.77	103.45	99.14	112.58
“ 37年4月	119.40	94.29	119.55	102.05	95.48	117.83
“ 38年3月	162.10	87.46	162.56	108.90	105.10	121.10
“ 38年4月	143.29	64.26	143.78	100.05	92.71	119.55

分類 年月	業					
	輸送用機械	精密機械	窯業	化学工業	石油石炭製造	皮革工業
ウエイト	2.38	0.83	4.95	2.58	0.28	0.14
昭和35年平均	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
“ 36年 “	193.60	155.45	100.34	107.00	96.24	117.94
“ 37年 “	215.11	653.28	98.81	90.76	94.47	172.06
“ 37年4月	239.41	461.22	85.19	88.60	92.22	167.23
“ 38年3月	251.86	1,022.39	100.44	81.26	79.85	173.16
“ 38年4月	261.67	692.22	107.42	95.35	76.92	119.25

# 合 生 産 指 数

昭和38年4月 (昭和35年基準)



数 表 (総 合) 昭 和 3 5 年 基 準

非金属鉱業	製 造 業				
	鉄 鋼 業	非鉄金属工業	一 般 機 械	電 気 機 械	
3.39	88.58	2.92	17.21	10.47	27.99
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
120.25	136.34	128.52	140.20	155.80	143.77
124.77	137.69	128.42	107.89	145.73	171.67
120.12	121.82	141.91	104.01	132.83	138.07
96.38	169.49	133.63	129.42	186.73	171.39
106.42	149.43	104.94	127.86	354.44	117.41

紙及パルプ	織 維 工 業	製 材	食 料 品 工 業	た ば こ 工 業	そ の 他 の 工 業
1.43	2.31	3.96	10.44	7.13	4.98
100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00
120.46	142.27	106.76	169.52	81.79	130.22
149.67	165.19	112.56	118.99	73.96	114.21
119.62	160.15	126.90	84.09	68.07	133.19
165.28	169.26	114.44	278.39	67.44	183.96
148.49	163.95	104.34	93.35	71.89	189.17

# グラフにみる

# 工場誘致

本県総合開発計画によれば、36年度から10か年間に約5,000ヘクタールの工業用地を新規開発することになっている。そしてここに企業を誘致し本県経済を飛躍的に発展させようとしているわけであるが、このたび総合開発事務局から、新規立地工場概要として、昭和35年1月1日から38年3月31日までに、誘致された工場数及び敷地面積等が発表されたのでこれをグラフ化してみた。

35年から38年3月までに328工場が新たに立地し、その敷地は約1,032ヘクタールで、これには500坪未満の工場が含まれていないから、実際にはこれを上まわる数値になるわけだ。

総合開発計画によれば、日立を既成工業地区として、勝田、水戸、石岡、土浦、下館、古河、岩井、鹿島を開発中核地区としているが、このうち勝田、石岡、土浦、古河、岩井などの地域では、顕著な実績を示しているようであるが、水戸、下館についてはこれからの誘致に期待されるところが大きい。鹿行地区については、まだ産

業基盤の最も重要な交通関係の条件が整備されていないために、誘致の実績を云々する時期でないようである。

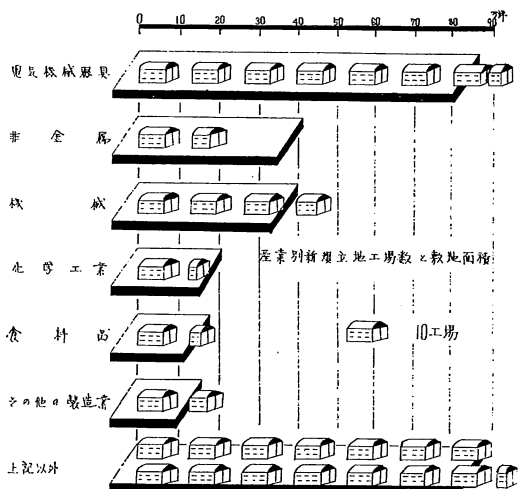
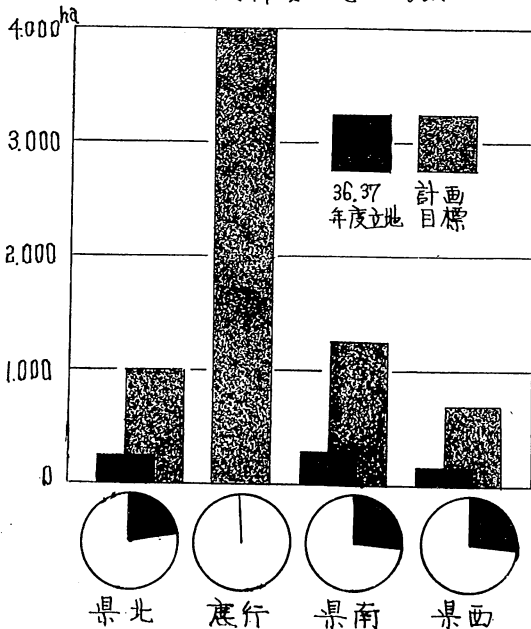
計画第1年度の36年と第2年度である37年度の実績をあわせ、目標に対する実績率をみると、総数で14.4%、県西26.0%、県南25.2%、県北22.2%の順で臨海工業地帯として造成される鹿行地区を除いては極めて順調に進んでいる。しかし、その内容のみをみると、進出企業の7割までが本社を他県に有していること、資本金1,000万円未満、敷地面積5,000坪未満という小規模企業が半分以上であることが注目される。

新規立地工場の内容

敷地面積別	5000坪未満 (225)	5000 ~10000 (35)	10000 30000 (14)	30000 以上 (26)			
	<table border="1"> <tr> <td>1000万円未満 (219)</td> <td>1000 ~5000 (42)</td> <td>5000 ~1億 (19)</td> <td>1億 以上 (24)</td> </tr> </table>				1000万円未満 (219)	1000 ~5000 (42)	5000 ~1億 (19)
1000万円未満 (219)	1000 ~5000 (42)	5000 ~1億 (19)	1億 以上 (24)				
本社所在地別	京 法 (199)	都 西 (18)	他 県 (11)	県 内 (100)			

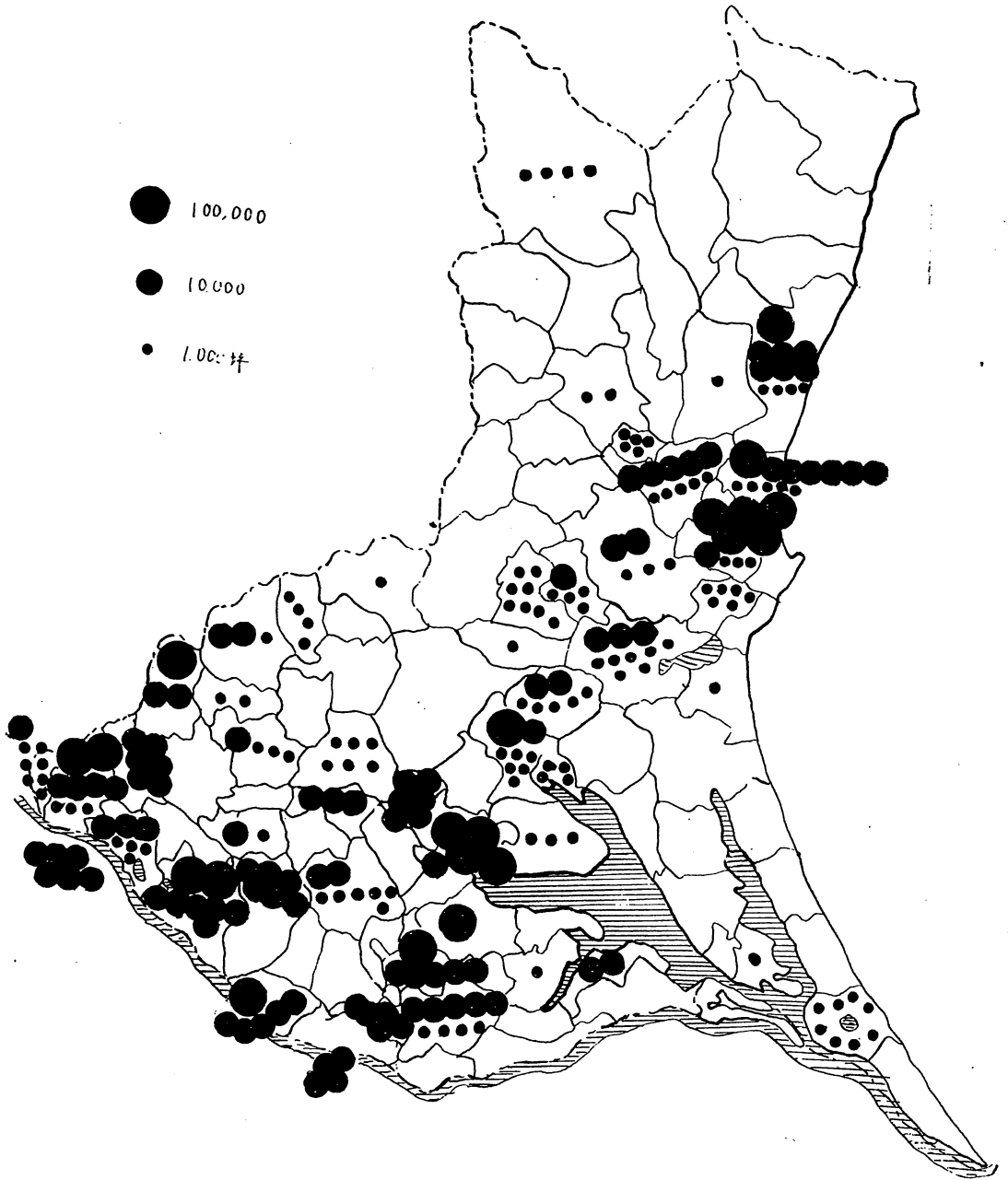
( ) は工場数

地域別新規立地工場敷地

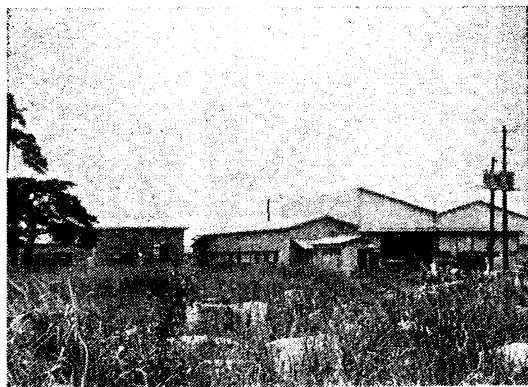




地域別新規立地工場の敷地面積



## 郷土産業めぐり(3)



〔真壁の石材団地〕

### 石 材

#### はじめに

県西地方の筑波山を中心とする山々は、平野部にあるめかあまり高くないが、雨あがりの、なだらかな緑の山波は見る者の心に一種の安らぎを与え美しいものである。春から秋にかけてはハイカーでにぎわい、本県観光の一翼をになつており、最近、このふもとに人口17万人という新官庁都市が建設されることに決つたが、これはとりもなおさずこの地方が自然的な条件に恵まれていることを物語つていのである。この地方の山肌をみると白い点が散在しているが、これらはいずれも採石場で、多くの石材が採取されている。近頃の建築ブームによつて山は益々活気を呈している。ここでは本県の石材の主産地である、真壁と稲田にスポットをあててみた。

### 真 壁

#### 概 況

常陸三山（筑波、加波、足尾）を無尽の宝庫とする、「真壁の石」は硬質緻密の優秀な花崗岩で土木建築の資

材としてあるいは碑石、記念碑等研磨彫刻用としてその用途も広範囲で、特に建築においては近代都市美造成の大きな要素となつている。

筑波山魂の加波、足尾を中心とする南北18キロ、東西4キロに72平方キロにわたる山地一帯は主として古生層とこれを貫く黒雲母花崗岩からなつており、石材としては主に黒雲母花崗岩を採石している。黒雲母花崗岩は粗粒花崗岩、中粒花崗岩、細粒花崗岩、優白質中粒花崗岩等、品質は極めて硬質で美しい光沢を有したものが産出されている。

採掘の歴史は遠く豊臣時代にさかのぼり、関東地方では最も古くから小規模ながら城廓用にあるいは地方の建造物に使用され、墓石については加波山神社等の岩石を対象にしたこの地方の信仰にちなんで古くから使用されていたことも知られている。明治23年関東石材会社がフランス人の手によつて採石に着手して以来逐次拡張され今日みるようになった。

#### 生 産 額

年間産出額は金額にして13億円、3,300立方メートル(約15万切)で、赤坂離宮(現国会図書館)の用材としても約4,600立方メートルが用いられたのをはじめ、建築、土木、美術工芸、機械工業等の用材として広く用いられている。

販売品目は建築用挽材、加工材、土木用間知石、割栗石、碑石、記念碑、灯籠、庭園用天然石、機械工業用定盤等で販売先は京浜方面へ産出量の6割が、更に遠く四国九州地方へも送り出されている。真壁地方の石材業者は126で1,500人の従業員が働らいている。

#### 今後の見通し

石材関係で特に重要な問題は輸送面であるが、加工場

は殆んど駅附近に採石場は真壁、樺穂、雨引の各駅から4キロ以内にあり主に鉄道輸送であるが、近時自動車輸送の発達に伴い東京附近は勿論、広範囲にわたって工事現場へ直送し、組合員所有の自家用車は大型20台、小型35台に及んでいる。

今後の需要見通しを業界の方にうかがってみると、来年のオリンピックを目前に、建築用材として今後も相当の需要があるものとみられ、また石灯笼等土産品として外人客にも珍重されることを強く期待しており、設備の近代化を図り能率的にしかも優秀な石材を生産しようと意気こんでいる。

36年6月から継続事業で真壁駅から東へ4キロの大字塙世に6.3haの石材工場団地が建設されており、すでに10の事業所が操業している。この団地は、石材業のかかえている騒音、粉塵、石材の積み降しなどの問題を解決するために計画されたものである。

## 稲 田

### 概 況

稲田のみかけ石は、笠間市稲田を中心に東西8キロ、南北6キロにわたる山地一帯より産出され、中粒の「黒雲母花崗岩」で、明治29年発見採掘されて以来本県は勿論全国にもその名が知られている。

石質は硬く、白色で光沢があり、白と黒（石英、長石黒雲母）の配合が均整で、斑点、筋帯などの欠点がなくかつ研磨すると鏡のように平滑となり、自然のもつ模様の優美さは、近代高級建築用材として広く用いられている。

### 生 産 額

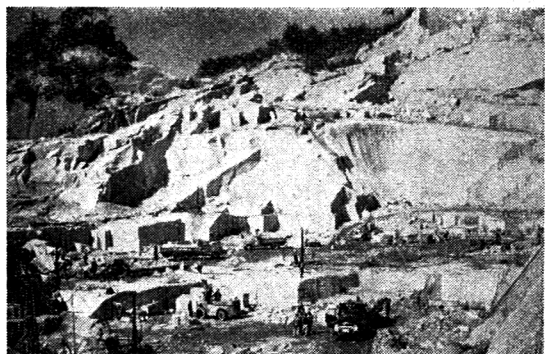
年間生産量は約20万屯を超え、金額にして約8億円に

及んでいる。事業所数は約60で、これらは採掘、あるいは加工のみを行なう事業所と、この両者を行なっている事業所からなっている。従業者数は約1,200名で、このうち10人未満の小規模事業所で働いている人達は6割を占め、市内居住者がほとんどであるが、一部は近隣より通勤している。

採石場は稲田駅から4キロ以内に60あまりあり、山元の優良な原石は巨大で豊富である。長物、大物、角材の生産は容易で、大量の需要にも応じられるようになっている。販売先は真壁と同じく東京都が大半を占め、関東各県をはじめ全国に販売され、土木建築用材としては県内、千葉県で特に需要が多い。

### 今 後 の 見 透 し

稲田の場合も今後の需要見透しは非常に明るく、現在加工場は山元と駅附近に大小合せて約50あるが、これら工場の機械は次々と近代化され、優秀な仕上と規格の正確、納期の迅速化を図り、輸送面ではトラックによって200キロ以内は直送の便利を図るなどサービスの向上に努め、他面設備の近代化とともに労働条件を改善し、山で働らく人達も工場の人達もよい環境のなかで作業が出来るようにすると業界はのべている。



〔機械化された稲田の採掘場〕

## ある調査を終えて

ある日、市役所から統計係のMさんが訪れ、今度7月1日に事業所統計調査が行なわれるので、その調査員になつてもらいたいとのこと。百姓である自分には農業関係の統計はやつたことはあるが、それ以外の統計調査はやつたことがなく、そんな仕事に対する自信も全然ないし、自分の仕事も忙しくてとても出来そうにもないのでお断りした。ところが一週間ほどして統計係長が来て、  
「今までいろいろな統計をやってくれたHさんが病気であとをやってくれる適当な人がないので是非引受けてくれ」という。

私の家族は妻と乳呑児で、耕地1町5反歩を耕作している農家であり、それでさえ手不足で、そのうえトマトや野菜の収穫期に入りとてもそんな余計なことはやつていられない状態なので、事情を話し誰か適当な人を見付けてもらいたいとお願ひしたが、  
「随分ほかの人も物色したが、どうも適当な人が居ない、ご存知のようにこの調査は、国や地方自治体などの行政、経済施策の資料として、さわめて大切な調査であり、調査の正否は調査員の手腕によつて決定されるので、誰でもというわけにはいかない、それに昨年行なつた夏期農業基本調査の結果が大変良く出来ていたので、そんな方にお願ひ出来たらと思つて」などいろいろと述べられ、  
「誠にご迷惑とは思いますが」と頭を下げられてしまった。あんまりしつこいので最後には厭味を言つてはみたが、彼の熱意と根気に負けつい引き受けざるハメにいたつてしまった。

さて、数日して事務の打合会が支所で開かれ、係員からいろいろと説明された。説明の結果、判つたような、とつてもむづかしい調査にも感じられた。事業所調査と言うと、その事業所という言葉からして大きな工場などが想像されるところであるが、家内工業のようなものや大工さんまでが調査の範囲に入るといふ。

私の調査区は、合併による新市のうち農村地帯であつたが、最近工場なども建ちはじめ、それに伴つて商店の数も多くなり、新しい街として発展しつつある処で、該当する調査客体も随分と多くなりそうなので、今更引き受けたことを後悔したが、男同志の約束として返上することも出来まいと覚悟を決めた次第である。

調査期間は7月1日から5日まで、丁度トマトの出荷が始まる頃で、公私とも多忙な時期となつてしまつたが妻にグチられながら、調査票を抱いて巡回することにす

まずさきに胸算用で調べた調査客体では50位かと思つたが、実際に行なつてみると家内工業的なものがあつて少し増えそうである。人を使つている大きな工場や、商

店などでは割合と楽に調査が出来たが、中にはまたかと思ふ顔を見せられたり、税金を取られるのではないかなどと申告をしぶられたりしたこともあつた。それでも会社以外の客体が多かつたので、金銭的な調査が免除されたことは大へん助かつた。

特に調査しにくかつたのは、個人でやつている大工、とび職とかいつた職人さんや家内で内職の下請や、編物と服仕立を業的に営んでいる奥さん達で、はつきりと家では事業所などでないからこんな調査票を出すのは見当違いであるとか、こんなものを書くとすぐ税金を取られるから、などと喧嘩腰でマクシ立てられるのには閉口、なだめつ、すかしつ、米つきバツタのように頭を下げるこの辛さは、国や県のお役人は知つているだろうか。

しかし、曲りなりにもどうにか調査票がまとまり、夜なべまでして内容を検討整理し、市役所まで提出し係員からお世辞でも「良く出来ました」と礼を言われた時の気持は、一つの仕事を果たした安らぎ、責任から解放される安堵感とをしみじみと味わう。

妻に厭味を言われ、トマトも赤く熟れさせながら、つい生来のお人好が引き受けてしまうことを反省してみる

調査が終つてから、いろいろ考えさせられることが多い。このような調査を行なうについて国に望みたいことは、第一線の調査員の待遇である。現在の物価高では1日350円也の手当は余りにも安くはないだろうか、自分の仕事をある程度犠牲にして、頭を下げ下げ厭味を言われ、ありもしない頭をしぼり夜なべまでして、これを作成する苦勞は判つておられないと思う。金銭的な面でのみ仕事をするわけではないが、今時百姓手間で350円では子供も頼めまい、実際にこの統計が必要ならば、この点を良く考えてもらいたいと思う。

つぎに統計調査に対する趣旨の普及が足りない、かへ声ばかりでは駄目だ、もつと統計が必要なら一般の人が良く理解するような根本的な何かの方法が考えられないか。もう一つ調査票は頭の良い人が作るためか、私達無学の者にはむづかし過ぎるようだ、まして一般の人には尚更わかりにくくはないだろうか。

統計は行政施策やその他企業経営にも必要欠くべからざるものであると偉い人や、識者は言う、確かにその通りだと思ふ。それ故にもつとみんなが納得して正確に統計がスムーズに得られるような態勢を考えてもらいたいものである。

私の考えは、独り良がりかも知れないが、真に統計を愛するため苦言を呈する次第である。(T生)



# 人間雑話 (15)

茨城大学教授 塚本勝義

日本の知識人は「通俗」という言葉をきらう。そして理くつを好む。何だか判らぬ理くつを感心する。だから、とにもかくにも難しい理くつを暗記している点においては世界一流だろう。それで毎日の生活は甚だでたらめである場合が多い。物知りな身についた教養が不足している。外国語はよく知っている。この外国語を村のお婆さんに話すときに得意になって使うのだから驚きいる。

酒を食わねばならないということは、あまりにも通俗なことだ。通俗だからといって、一年も絶食したらどうなるか。酒好きが酒を飲しがるなんて、ばかたほどの通俗的理くつだ。だからといって酒好きに酒を飲まなかつたら、あぶなかつて近寄れまい。夏の薄着と厚着なんて、通俗の第一だ。通俗だが、これをやらなかつたら身が持たぬ。

われわれの毎日の生活を顧みると、99パーセントは通俗な生き方をしている。年頃になつて結婚するのも通俗。一二年経てば赤ん坊がとび出すのも通俗、さらに夫婦喧嘩の回数が急上昇するのも通俗。ところで、ほんとは結婚すれば、そこらいついばいうれしくなり、二重顔を出せば、おめでたおめでたであり、夫婦喧嘩もつれをバイクに乗せて、ふつとばせば、命とりにもなつておけぬ。人間の悲喜いずれも「通俗」に完全に引き運ばれているんだ。「通俗」に徹した人間が幸福者になり、通俗を軽べつする人間が不幸になり、きらわれ者になり、余計者になるといつていい。

こんなに大切な「通俗」を、「通俗的なやり方」を、「通俗的な考え方」を、なんでさげすむのであろうか。さかだつて、年頃になれば結婚するのがあたり前、通俗的な考え方に従つて行動すれば、必ず幸福になる。もちろん当然外れもたまにはあるが、専門家の作られたものに当り外れはあるんだから、それは仕方ない。物にも事にも例外がある。ところが、生半可に小理くつを暗記すると、こつちの造作やツヤも考えないで、手ばかり注文をつけるから、結局は好機を見送る、三振の三振となり、自信力は年と共につが、男性には全然魅力のない存在となつてしまう。

今の人間、今の社会では、われわれは、「通俗」を大嫌になつたら、幸福もつかめぬし、安全に生きる

ことさえ難しい。こんなに大切な「通俗」をさげすむ知識人は、どうやら本物の知識人ではなさそうだ。

○ ○ ○ ○

池田さんが「人造り」を言い出したなら、日本中いたる所で「人造り」論がにぎやかになつた。結構なことだ。しかしながら、人造りの根本は、先ず論ずる人自身が自己改造を断行するのが第一歩だ。出来はずれの自己をほつたらかして置いて、人のことにばかり改造のメスをふるうなんて、虫が良すぎるし、第一、そんな、いいあんばいの考え方で、改造のメスがふるえるはずがない。いい人には動かされるが、ろくでなしには反拗したくなるのが人情だ。人情を無視して人間改造をやるうなんてこれは難しい理くつにだつて合わない。

わたくしの言つてるのは通俗論だ。普通の体温で生きてる人間なら、わかり切つてる平凡論だ。うぬぼれたことをいうようだが、通俗で平凡で、その上に陳腐きまわる理くつだが、実行すれば効果テキメンであろう。だから通俗であり平凡であり陳腐でもあるんだ。

いつたい日本という国土には、理くつが多過ぎる。役にたつ理くつなら、あふれるほどあつてもいいが、単なる理くつとしての存在以外には、何等の存在価値のない理くつが多過ぎる。やかましいだけで、実際生活の方はちつとも豊かにもならない、深くもならない、すつきりもしない。

ひんばんに開かれる会議なんかも、くだらぬ理くつをカットしたら、もつともつと短い時間で重大な決定ができるだろうに。事の急所にふれない、昔の言葉を用いて表現するなら枝葉末節にひつかかつた愚論迷論があまりにも多い。愚論迷論をまくし立てなければ、会議をやつたような感じの出ない人間さえあるんだから、困つたを通り越してあさましく感じられる。本人は趣味でやつてることだろうが、人さまに迷惑をかける趣味では罪に価するといえよう。

○ ○ ○ ○

若いうちは、ややもすれば「難しさ」を愛し、「奇」を好む。そして妙な方向にそれて行く。自分では伸びたつもりだが、実はあらぬ方にそれて行くのだ。杉の木のはいいのは真直に大空に向かって平凡に伸びる。横にねじれて伸びれば忽ち抜き切りされてしまう。